アディダスで正しいテクニックを身につけたい。

3155 Napoli
ナポリ
●ベロアレザー甲皮●赤×白
●シェルソール
¥7,500(標準小売価格)

3150 Athen
アテネ
●ベロアレザー甲皮●青×白
●シェルソール
¥7,500(標準小売価格)

デンマーク・ワールドチャンピオンシップでも、優勝ドイツチームを始め、世界16ヶ国の代表選手の78%もがアディダスハンドボールシューズでした。そのヒミツは、誰にも負けない経験と実績、そして技術開発力を背景に、世界のトップ選手のアドバイスを商品開発にダイレクトに生かしているからに他なりません。ストップ、ターン、グリップに理想的なアディダス独自のソール設計。足への文句のないサポート感。加えて、足を良く守るヒールカウンター、パッド…。大切なゲームであなたに必要なのはこのアディダス機能です。

adidas® The science of sport.

The all-sports people


●お求めはadidas特約店で

発売元  兼松スポーツ用品株式会社
〒532 大阪市淀川区木川東2−5−3 ☎06・305−1431
〒130 東京都墨田区緑2−12−3 ☎03・634−1411

今年度予算（補正）などを決定

渡辺強化部長（辞表提出）は慰留へ

全国理事会（6月23日）

六月二三日午後一時から岸記念体育館において、本年度第二回目の日本協会理事会が開かれた。

主な議題は、昭和五三年度決算の承認と昭和五四年度第一回補正予算の承認である。いずれも代議員会の議決事項であるが、定例代議員会が二月に開かれたばかりで次回の代議員会が来たる一一月に予定されているために、理事会で補正予算を承認、執行し、次回の代議員会で事後承認を得る慣例になっている。

◇昭和五三年度決算

大野総務部長から概略説明があり、松本監事から監査報告がなされて万場一致で承認された。

昭和五三年度の収支結果は、前年度繰越金一、六四〇万円余（未収金三五五万円を含む）を加えた金六七、〇六四、四六二円の収入に対し金五一、八六六、四三〇円を支出し、剰余金一五、一九八、〇三二円（未収金約二九〇万円、オリンピック基金約二五〇万円、機関誌未発表分経費約二八〇万円を含む）を昭和五四年度に繰越すことになった。したがって単年度では金一二〇万円余の支出超過である。

事務局費、会議費の中の小項目で予算より若干過不足のあったものが見られた。今年度から毎月の予算差引表を作成しているので予算超過はチェックできるが、小項目を常務理事会で流用できる規定を整備する必要がある（現在は内規で処理している。）

なお、未収金について、北海道岐阜県、長崎県各協会から異議がでているので、これについては各協会から領収証等を徴し調査を継続することとされた。

◇昭和五四年度補正予算

新任の西村財務部長から補正予算書に基づいて説明があり、万場一致で原案どおり承認された。

今回の第一回補正は、日体協補助・委託金の内示に基づくものが主たるもので、毎年当初予算は、地方協会等の予算編成を考慮して前年の一一月の代議員会で新年度の事業計画、予算を決定するため、未確定の日体協の事業（主として強化関係）を当初予算に組めないことと、繰越剰余金が見込まれてもそれが確定しないと予算化できないことなどの理由により、年度初めに当初予算の追加補正が必要となるのである。

(一)追加事業の主なものは

(1)今年の一〇月に行なわれる世界ジュニア選手権大会（男子はデンマーク、スウェーデン、女子はユーゴ）に参加する経費の一部として、金八一七万円を計上。

(2)オリンピックアジア予選のために、航空運賃相当の金一九七万円余を計上。

(3)強化コーチの短期欧州派遣費として一〇二万円余を計上。

(4)IHFシンポジウム出席旅費として金六〇万円を計上。

(二)増額補正の主なものは

(1)強化合宿費を前年度並みの金四〇〇万円に増額。当初予算では財源不足だったため、繰越剰余金を見込んで第一回補正で不足分を補塡することになっていたもの。

(2)ナショナル選手国内移動費として合宿費とは別枠に金一〇〇万円を計上。

(3)西独・オーストリー招待レセフションなどのために渉外費を一〇〇万円に増額。

(4)各加盟団体に対する運営費補助を金一五万円ずつに増額。

(5)職員給与を一〇％アップして四月にさかのぼって支給。

(6)編集委員会に嘱託をおき月額四万円を手当として支給する。

◇渡辺強化部長の辞任問題

各部の事業計画の細部についての協議では、男女ナショナルを承認（2～3頁参照）。強化部については、先ず理事長から渡辺慶寿担当部長の辞任届の経緯について説明があって、理事会はこれをめぐって議論がなされた。

同氏の辞任の理由は明確でないが、同氏又は強化部の考えている強化方策が日本協会の方針と対立するとかいうような問題はないので同氏の個人的な問題と見られているが、モスクワオリンピックを一年後に、その予選を間近かに控えて強化部としても重大な時期なので、渡辺氏の辞意は固いがそのような趣旨を踏まえてこの問題を理事長に一任することになった。

◇全国中学校大会について

予算、ブロック割り、主催者名従来の全国中学生大会との連続性申込の時期等について中体連と日本協会が緊密な連絡をとって進めていくことになった。なお、大会回数は、これまでの「全国中学生大会」からの通算とする。

『ハンドボール』
54年7月号（第176号）目次

【表紙写真】日韓学生交流女子第二戦・全北大―関東学生選抜　スポーツイベント社提供

若さ注入の男子、即戦力の女子
発表されたナショナルチーム（モスクワ候補選手）

日本協会は1頁所報のとおり、6月23日の全国理事会で「昭和54年度ナショナルチーム名簿」を発表した。
それによると、男子は29人女子23人で、前年度に引きつづき、いずれも「モスクワ・オリンピック候補選手」。
日本協会の、モスクワ路線は、半年後のアジア予選を控えて、着々と地固めが出来ている感じだ。

まず、新リストを男子からみてみよう。
何よりも目立つのは14人もの〝新人〟が加ったこと、若々しい印象を強めている。
このうち、大原（大同）を除く13人は、いずれも、昨年度の「ヤング・ナショナル」にリストアップされていた選手だ。
コーチングスタッフは、これらの選手を、これまでのように、そのまま規定年令まで、ヤングに置いておくのではなく、積極的にナショナルへ引き揚げることを、強く望んでいた。
それによって、キャリア豊かなベテランたちの技・心・体を身近に体得することが出来るし、一方これまでの選手たちに、ポジション争いの刺激を与える効果も生まれる。
この姿勢は、全国理事会も全面的に支持したようで、特に、若手の大量加入は、八二年の世界選手権(西ドイツ)、八四年のロスアンゼルス・オリンピックにつながるいわゆる次期構想としても期待が高い。

次期構想も盛りこむ

男子ナショナル・チームのこれまでの最多人数は、43年度の40名で、今回の29名は、久々の大世帯だが、これには、次期構想といった展望のほか、今秋十一月、南京で第2回アジア選手権、台湾（予定）でモスクワ予選と、相次いで二つのビッグイベントが行われる〝特殊事情〟があるのも見逃せない。
どう考えてもムダな話だが、複雑な国際事情もからみ、日本協会では、本誌172号既報のとおり〈二つの全日本〉を編成して、両大会を乗り切るハラを決めた、といっていい。
具体的なチーム編成については強化委員会筋、コーチングスタッフとも言明をさけているが、アジア選手権のエントリー〆切りが、早ければ8月末と伝えられるだけに、それまでには、〈二つの全日本〉のアウトラインが、浮かびあがろう。
なお、荒川理事長は、日本がオリンピック出場権（アジア代表）を獲得した場合、予選出場者が、オリンピック候補となるのではなく再び一つの編成に戻して、来春三月頃、オリンピックチームをリストアップするといっている。
また、今回の29選手のほか、今年度下半期の実績しだいで、追加もあり得る、としているのは、従来と同じである。

ヤングから大量昇格

発表された名簿のうち、GK陣は、本田(イーグルス)、柴田（本田技研鈴鹿）の両モントリオール代表が脱けて、その構成に注目が集ったが、昨春の世界選手権代表・福井（湧永）を中心に、新進の大型を揃えた。
いずれも、勝負強さには定評があり、今後の成長に期待をかけたい。なお、昨春の世界選手権代表・須波（筑波大出）は、名簿からはずれた。
FP陣は、すでに、昨年11月、ベテランの退陣が報告されていただけに、補充が焦点となった。
ヤングからの〝全員昇格〟という思い切った手段は、質量ともに充分な顔ぶれだが、異彩を放つのは大原。すでに26才の中堅選手だが、その技巧的な攻撃力は、多彩なシュートを誇った佐藤（本田）が退陣したあとだけに、興味深い選考だ。
関(三陽)、辻本（イーグルス）も若手というよりは準中堅。関は今春のヨーロッパ遠征で、一足早く全日本入りしていた。
若手は、山口(日大)、松井（日体大）を除くと、全員が180センチ台。今後、どこまで成長し、全日本の中心選手となるか、期待は大きい。北川は国内最古参の慶大が生んだ最初の7人制ナショナルプレイヤー。
矢島（筑波大）と松井は、早くも西ドイツ戦のメンバーに加えられた。

世界ジュニア有資格者も

ところで、今秋には、もう一つ第2回世界ジュニア選手権（10月23～11月2日、デンマーク）という〝大もの〟が控えている。
日本協会では、4月以降、ナショナルとは別に「ジュニア・ナショナル」（旧来の「ヤング全日本」を改称）の選考を進め、大筋の決定をみているようだが、今回発表されたナショナルチームのなかにも、次の8選手に、出場資格がある。
GK井藤、FP山口、仲田、猪野、田口、西山、北川、金井。
つまり、この8人は、三大会に出場資格を持つわけで、コーチングスタッフが、どのような〝割りふり〟を見せるか、注目される。
ジュニアのリストは、男女とも早ければ7月中旬に発表されるようだが、リスト即世界ジュニア選手権候補なのか、どうかは明らかにされていない。
これは、女子のジュニアの中に21才以下というこれまでの慣習をうけて選考された選手がおり、その選手たちには、20才以下と規定された世界ジュニアへの出場資格が無く、取扱いについて、明確な線が出ていないためである。

どうなる中井らの復帰

ジュニアとは対照的に、全国理事会は、強化部の意向をうけて、昨シーズン限りで全日本のユニホームを脱いだ中井、花輪（ともに大同）、佐藤、柴田（ともに本田）の4選手の復帰を要請することになった。大きなニュースだ。
4選手とも、日本リーグで活躍中の実力派、今回発表された29人の中に加っても、当然おかしくな

い選手で、国際的知名度も高い。
　昨シーズン途中、いずれも辞退届を出し、11月の全国理事会でも承認されていたが（＝本誌188号）それから7カ月後、異例とも思えるカムバック要請は、このあと、どう進展するか、注目されるところだ。

モントリオール組は5人

　一方、女子は、男子と対照的に新人はわずか4人、即戦力中心のリストアップとなった。
　昨年の世界選手権アジア予選で韓国に敗れて以来、目標を、今秋のオリンピック予選一点にしぼっての強化。むしろ23名もの名があげられたのは予想外で、秋につながる精鋭主義が打ち出されるのではないか、とさえみられていた。
　昨秋11月時点で、小森、楠石（ブラザー）、横山（重機）、藤井（日体OG）が退陣しており、今回は、さらに山井（日立）の名が脱けたが、加藤、穂積（ともにビクター）、松下、河田（ともにジャスコ）、紀野（立石）のモントリオール5人組が健在。当然、アジア予選も、これらの選手が、チームの主体になろう。
　GKは、雪じょくの意気に燃える山本（ブラザー）をリーダーに井村（立石）、矢部（ジャスコ）の両ホープが並んだ。矢部は、ヤング時代、東ドイツ戦（2月）の場を踏んでいる。
　FPでは、昨年のアジア予選を休んだ島田（日立）が完全にカムバックの態勢をととのえたのが目立つほか、清水（ムネカタ）、千歩（北国）の長身選手も元気だ。
　このほか、バレーボールから転向の吉田（日立）、昨年の日本リーグ得点王・伊藤（ビクター）、リードオフに秀れた才能をもつ中川（ブラザー）、橋ノ口、桑原の立石コンビなど多士済々で、バラエティにとんだ編成は、秋への希望を強いものにする。
　初参加は、水上（日立）、宮平（ブラザー）、西（大崎）の三人だが、いずれも攻撃力は、先輩たちに劣らぬパワーがあり、コーチングスタッフは、秋までに6回の強化合宿を計画しているというが、この多彩な布陣なら、充分、昨年の借りを返すことができるだろう。
　なお、男子同よう、女子でも、水上、GK矢部、井村が、世界ジュニア（10月13～24日・ユーゴ）への出場資格をもつが、はたしてどちらの大会へ派遣するかは、今後の強化部会の話し合いにかかる。

コーチ陣、男女に〝分割〟か

　コーチングスタッフについては全国理事会では、特に話題とならなかったが、男子・竹野奉昭、女子・池田鉄哉両監督をはじめ、昨秋発表された東嘉伸、本田洋、木野実、白神邦雄、野田清、市原則之、早川清孝、近森克彦、谷口俊郎、伊藤宏幸の10コーチに異動はない。
　このうち木野氏が世界ジュニアを担当するのが確定的のほか、女子は、白神氏が世界ジュニアの指揮をとることになりそうだ。
　しかし、そのほかの分担については、具体的な動きは、今のところなく、今夏以降、再び、男女に分けて強化を担当する線が濃くなってきている。
　また、女子コーチとして高校界または学生界から二～三名が追加されるという構想も聞こえている。
　なお、早川氏は、日本体協の新事業、海外派遣コーチとして今秋から西ドイツ（ケルン体育大）への留学が有望となっている。

カタール、五輪予選に出られず

【速報】ＩＨＦ（国際ハンドボール連盟）は、このほど、モスクワオリンピック・アジア男子予選にエントリーしたカタールが、ＩＯＣ（国際オリンピック委員会の加盟国）でないことから、同予選への参加申しこみを受けつけられぬ、と正式発表した。
　これによって、同予選は、日本、韓国、クウェート、台湾の4カ国によって争われることになる模様だが、日本協会は、6月30日現在ＩＨＦから、同予選について、なんら公式的な通知を受けとっていないといっている。

◆男子ナショナルチーム（29名）

・ＧＫ				
岡部　大	(24才	・大崎電気)	182cm	53年11月
原田　昭昌	(22	・大崎電気)	181	初
福井　秀人	(27	・湧永薬品)	180	52年6月
井藤　英忠	(20	・日体大)	185	52年6月
大畑　孝広	(22	・本田技研鈴鹿)	183	初
・ＦＰ				
津川　昭	(27	・湧永薬品)	180	49年1月
穂積　豊彦	(27	・湧永薬品)	180	49年1月
山本　伸二	(25	・湧永薬品)	178	53年11月
生駒　靖夫	(23	・湧永薬品)	185	52年6月
池ノ上孝司	(23	・湧永薬品)	185	52年6月
志賀　良弘	(23	・湧永薬品)	187	52年6月
柳川　実	(25	・大同特殊鋼)	175	49年1月
蒲生　晴明	(25	・大同特殊鋼)	192	48年8月
中本　満明	(25	・大同特殊鋼)	184	52年2月
大原　真造	(26	・大同特殊鋼)	176	初
滝口　孝之	(22	・筑波大)	184	初
矢島富士雄	(22	・筑波大)	184	初
西山　清	(20	・筑波大)	181	初
斉藤　幸司	(25	・大崎電気)	174	49年1月
金井　克志	(19	・大崎電気)	192	初
山口　哲史	(21	・日大)	178	初
仲田　稔	(21	・日大)	184	初
猪野　栄一	(20	・中大)	185	初
田口　長雄	(19	・中大)	186	初
斉藤将一郎	(26	・秋田教員)	187	48年8月
関　健三	(24	・三陽商会)	180	54年2月
辻本　孝仁	(23	・大阪イーグルス)	179	初
松井　幸嗣	(22	・日体大)	178	初
北川　勉	(20	・慶大)	180	初

◆女子ナショナルチーム（23名）

・ＧＫ				
山本　福代	(24才	・ブラザー工業)	165cm	52年6月
井村文光子	(20	・立石電機)	170	53年11月
矢部登茂子	(19	・ジャスコ)	172	初
・ＦＰ				
加藤美起子	(24	・日本ビクター)	164	49年10月
穂積美保子	(23	・日本ビクター)	168	49年10月
小島　和子	(23	・日本ビクター)	165	52年6月
染谷　保子	(22	・日本ビクター)	165	53年11月
伊藤　珠美	(20	・日本ビクター)	160	53年11月
松下　仁美	(23	・ジャスコ)	163	49年10月
河田　栄子	(23	・ジャスコ)	167	49年10月
金田　孝子	(24	・ジャスコ)	157	53年11月
吉田貴美子	(21	・ジャスコ)	161	53年11月
紀野奈々美	(24	・立石電機)	163	49年10月
橋ノ口フサ子	(22	・立石電機)	163	53年11月
桑原　広子	(21	・立石電機)	163	53年11月
吉田　良子	(22	・日立栃木)	165	53年11月
島田さゆり	(21	・日立栃木)	172	52年6月
水上　清美	(20	・日立栃木)	166	初
中川しげみ	(23	・ブラザー工業)	157	53年11月
宮平　恵子	(24	・ブラザー工業)	162	初
千歩　康子	(21	・北国銀行)	171	52年6月
西　典子	(21	・大崎電機)	168	初
清水みよ子	(22	・ムネカタ)	170	52年6月

◇男女とも右欄の年月は全日本入りを示す

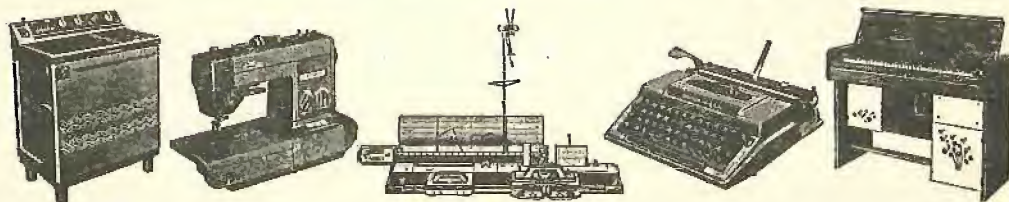


練習が技術をつちかい
技術が信頼を支える

きょうの反省を、あすの練習に、試合に結びつける……スポーツマンにとって、大切な心がまえです。常により高度な技術をめざしてチャレンジする——それはブラザーが目ざしているものと一致します。技術がチームメートの信頼を支えるように、お客さまの信頼に応えるのは、高度な技術に支えられた品質以外にないのですから——。

BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社



西ドイツシリーズいよいよ開幕

世界チャンピオン・西ドイツ男子ナショナルチームを迎えての国際試合（全3戦）が、いよいよ開幕する。

若き王者たちは、すでに6月21日西ドイツを出発、第1遠征先の中国へ着き、地元チームと交流しているが、日本のファン、愛好者の関心も日ましに高まり、世界最強軍団の到着（7月3日・成田）を待ち構えている。

迎えうつ全日本の陣容も決まったところで、今シリーズのみどころを、もういちど探ってみよう。

◇　◇　◇

本誌前号詳報のとおり、西ドイツは、40人といわれるナショナルチームの中から、ベストメンバーを揃えて、アジア遠征に向かった

これは、ステンツエル・西ドイツ監督が、1年後に迫ったモスクワ・オリンピックに、本格的な始動をみせた、といってよく、その試合ぶりには、ヨーロッパ球界も大きな注目を寄せている。

一方、全日本も、半年後に、オリンピック予選を控え、春のヨーロッパ遠征、今回、そして9月のオーストリア招待と三段階の強化計画の真ん中にあたる、とあって思い切った選手の起用を示した。

特に、大原(大同)、矢島（筑波大)、松井(日体大）をリストアップしたのは、これまでの全日本ではみられぬ思い切りのよさで、GKも、福井（湧永）の負傷はあるものの、大畑（本田技）を加え新鮮な印象を強めている。

これは、コーチングスタッフが選手層の厚味を企ることと、チーム内の競争を激しくさせる、といった狙いの〝実現〟で、来日する西ドイツが採用して成功させた手段を見習ったものともいえる。

さて、全日本は、どこまで戦かうだろうか。

日本協会・荒川理事長は「敗れても五点差以内」を、コーチングスタッフに望んでいる、というがその目標を果たすことができるかどうか。

今春訪独した時は、若手中心の相手に17—27と完敗だったが、今回はホームコート、しかも、西ドイツは、暑い中国を転戦してきたあとだけに、条件的には、日本が圧倒的有利といえる。

東コーチも「善戦するというよりも、勝つんだという気構えで臨みたい。それには、第1戦が絶好のチャンス」といっている。

竹野監督も「ヨーロッパの大きさ、重さに、どう対抗したらよいか選手が肌で感じとってきた。この〝自信〟は大きいし、日本のプレーを思い切ってぶつけられる」と、たのもしい抱負だが、具体的には、サイドから鋭く切れこんでくるエーレット（今シーズンの西ドイツリーグ得点王)、ポストでは、世界屈指と定評のスペングラーを、どう封じこむかにかかるのではなかろうか。

しかし、この二つの芽をおさえても、巨漢ブンダーリッヒや、重戦車クルースパイス、さらには、この遠征に自からのモスクワ行きを賭けるダムマン、ファイ、メイジンガーといった選手たちのプレーは、けして侮れない。

ましてや、ベンチをあずかるステンツエル監督の作戦、用兵は、際立ったものがあり、一つがダメとみれば、二の矢、三の矢を繰り出す手腕と、選手の〝消化力〟は大きな武器だ。

また、ブラントーGKホフマンの鉄壁ディフェンスコンビも、文字どおり、日本の前に立ちふさがるとみられる。

昨年の世界選手権、今春の遠征で、蒲生(大同)の実力が、はっきりとヨーロッパ勢にマークされるようになり、今回も、西ドイツのディフェンスが、彼一本に的をしぼってくることも、充分考えられる。

その場合、いかに日本が攻めるか。それは、オリンピック予選にもつながるだけに、注目される。

そのほかでは、斉藤(将)が、FPとして、どこまで成長したかが一つのポイントになる。また、山本(湧永)、大原の技巧派のプレーがかっての近藤（大崎）や、野田（大同）のような評価を得るところまで行くかも、期待とともに見守りたい。

西ドイツ、中国で3連勝

中国通信が伝えるところによると、中国転戦中の西ドイツは、6月26日までに、3試合を行ない、いずれも勝利を握った。

23日北京での第1戦は、中国ナショナルともいうべき、北京と軍隊のピックアップチームが相手、長旅の疲れから、西ドイツは鋭さがもう一つだったが20—17で勝利をあげた。

24日北京での第2戦は、北京選抜と対戦、30—13で快勝、第3戦は、場所を南京に移し、広東選抜と顔を合せ、19—12で3連勝した

西ドイツは、このあと上海に向かい、2試合を行なうことになっている。

―◇スケジュール◇―

▽第1戦　7月5日　対全日本（18時30分・京都府立体育館）

▽第2戦　7月6日　対大同特殊鋼（18時・名古屋市体育館）

▽第3戦　7月7日　対全日本（19時・東京体育館）

…＜両軍の陣容＞…

西ドイツ来日メンバー

・GK	
ホフマン	192cm
ラウマー	192
ニーマイヤー	190
・FP	
ブンダーリッヒ	204
フライスラー	195
クルースパイス	195
ブラント	193
ファイ	193
オーリー	191
パルッケ	187
マイジンガー	186
ダムマン	185
メツフレ	184
スペングラー	181
エーレット	180

全日本メンバー

・GK		
井藤	（日体大）	185cm
大畑	（本田技）	183
岡部	（大崎）	182
・FP		
蒲生	（大同）	192
志賀	（湧永）	187
斉藤将	（秋田教）	187
池ノ上	（湧永）	185
矢島	（筑波大）	185
巾本	（大同）	184
津川	（湧永）	180
穂積	（湧永）	180
関	（三陽）	180
山本	（湧永）	178
松井	（日体大）	178
大原	（大同）	176
斉藤幸	（大崎）	174

日本協会専門委員会だより

強化

プレオリンピック（スパルタキャード）が始まり、モスクワオリンピックのスタートはきられました。私共「男子ナショナル」も勿論すでにモスクワへのスタートはきっております。

モスクワオリンピック出場に照準を合わせ、協会関係者は勿論のこと男子部役員、選手は一丸となり努力しております。

当面の目標はモスクワオリンピック出場にありますが、82年の世界選手権、84年のオリンピック、そしてまた88年のオリンピックにと長期目標も考慮し、本年度は皆さんもすでにご承知の通り大幅な若い力をナショナルに加えました。

こうした新進気鋭の有望な選手諸君の活躍に対し絶大な期待もかけています。

このような長期展望をも含み、多数の有望選手の起用もありますが、やはり現時点でのナショナルチーム構成の上からも、より秀れた選手が必要となっています。

「男子ナショナル」の課題の一つは選手層の問題であります。

控え選手の強化、選手層の厚さこれらを早急に解消するためにも「ナショナル」の充実が切実に感じられ、そのためにもこうした数多い優秀な選手を加えました事は課題解消の力になるでありましょう。新らしく加わった新進気鋭の選手諸君は、各々チームにおいて中心的な活躍を果している選手が多くをしめています。

新らしい力強いエネルギーをナショナルチームに吹きこみ、先輩メンバーに良い刺激を与えまた良い意味においてお互いに技を競いよきライバルとして各々に与えられたポジションを競いあい一日も早く育ってくれることを望んでいます。82年の世界選手権、そして84年のオリンピックにはこの若き選手諸君がナショナルチームの中心的選手として活躍しているでしょう本年度は「ジュニアナショナル」もスタートをきります。これらジュニアの兄貴としても、恥じず、また負けることなく日々精進を願うとともに、前述のように先輩の精神、技術を一日も早く学びとり先輩に負けぬ立派なプレーヤーに育ってくれるよう念願します「ナショナルプレーヤー」としての自覚を新らたに今後一層の努力と共に目標達成に向って邁進してくれることを最後に重ねて望み、今後の活躍を祈ります。

幸田末之

財務

この四月より財務部長という大役を仰せつかり（日本ハンドボール協会の何たるかも分らない為、辞退申しあげたのですがチームもお世話になっていることでもあるし、少し位はお役に立てればという気持からひきうけることにしましたが）早速五十四年度補正予算と取り組みましたが、さっぱり要領が得られず、結局大野総務部長のご指導のもと、どうやら形だけでも作りあげ、常務理事会、全国理事会で承認を得られ、あとは代議員会の承認を待つだけとなります。

今年の補正予算総額は前年度比二五〇〇万円増の七六〇〇万円という大型予算になっております。

この補正予算の中で最も注目されるのは、モスクワオリンピックを来年に控えて、日本体育協会からの国際競技力向上事業委託事業委託金、一四三〇万円の交付があります。明細をみますと、オリンピックアジア予選男女チーム派遣（台北市開催）に一七五・六万円、コーチ派遣（西独）九一・二万円チーム招待（九月オーストリア男子）一二〇・五万円、更に強化指導事業（コーチ・トレーニングドクター対象）に一〇五・九万円、そしてジュニア世界選手権派遣（男・女）に八一七万円という体協からの委託金が決定し、予算増額の大きな要因になっています。と同時に、モスクワオリンピックへの大きな期待が寄せられている訳です。特に、若手ジュニアへの期待は大きく、他競技と同様、若手有望選手の台頭が待ち望まれるところであります。

次に「機関紙」の予算を従来は別会計にしていたものを当年度から一本化し、収入（広告を含む）一一〇〇万円、支出一三三〇万円（これは発行の遅れている過年度四カ月分約二八〇万円の製作費を含む）という数字が予算に計上されています。

次に、今年来日する二つの外国チーム、西独とオーストリア両チームによる開催権料収入、これは両方で二五〇万円と少なく見積っていますが、西独男子チームは世界チャンピオンチーム、少なくとも一ゲーム一〇〇万円位の開催権料を見込めるような対策をたて、それを選手強化の方へ回すという商才も必要ではないかと考えるのは、自分一人だけではないと思います。

他に、長く変更なしできていた各連盟（全日本学生、高体連教職員、実業団、自衛隊）高専大会への補助金を各々五割アップしました。

西村孝雄

日本協会専門委員会だより

普及

日本協会の組織変更にともなって、普及部も大西武三氏（筑波大学）を部長にいただいて、出発した。大西氏の理論と実践は、氏の情熱とともに斯界でも誰しもが認めているところであり、普及部員一同も大いに頑張りたいと考えている。

そこで、紙面を借りて、普及部の概要や、更に今後このような抱負であるというような点を述べて機関誌を通じてご理解いただくとともにご協力をお願いしたい。

すでに継続行事としては、教員養成系大学の学生に対して、ハンドボールの適切な理論と実践を理解せ、将来指導者として協力させるべく講習会が、本年は筑波大学で行われる（詳細本誌既報）。

更にいよいよ一本立ちする中体連組織、もっと低学年までとはいかないまでも、将来高体連とともにやがてすばらしいプレーヤーを排出する基盤となるように普及部としてできる限りの協力をして行きたい。

又、本年二月に行われたハンドボールにとって画期的な上級コーチ講習会の今後の位置ずけ等、難問が山積しているが、地道に取り組んでいきたい。

さて、モスクワオリンピックを頂点として、日本のハンドボールに寄せる期待やら要望やら、又批判も含めて、現状は複雑多岐にわたっているが、そのような中で、普及部はいかにあるべきかを考えるとき、たとえ単年度でまとめることが不可能でも、二年、三年間継続してしかるべき方策が見い出せないものだろうか。

例えば、競技人口についても、中学校段階では把握の資料が不十分である。一体、普及の現状はどのようなのか。学校でのクラブ組織以外の正課体育での扱われ方、あるいは、ハンドボーラーは、現実にハンドボールに対して、あるいは、我々日本協会に対して、一体、何を求めているのだろうか。全国的な普及に関する調査を行って、その上にたって、普及部としてのあるべき姿を考えてみたい。そうすれば、もっと現実に立脚した方策が見い出せるのではないだろうかと思う。

現実にハンドボールの競技人口は年々増加している。しかし、他のスポーツの増加率に比較するとまだまだものたりない点がある。

今ひとつ、ハンドボールが爆発できない、煙りだけが見えているような足ぶみ状態でもあるといえるよう。このような現状にメスを入れて、その原因がどこにあるのかを全国の関係者と共に考えたい。

企画

ミュンヘンオリンピックの翌年優勝チームのユーゴスラビアが来日し、又、この度は世界選手権のチャンピオンである西ドイツが世界一の技と力を見せてくれることになった。

ところで過去数回、構成メンバーこそ違い、西独チームとは常に僅差の勝負を経験し、大同特殊鋼がユーゴや東ドイツに善戦している。又、ミュンヘンオリンピック前のタスマイダンカップ大会では全日本がユーゴと引き分けた実績もある。このことからして、チャンピオンの道は険わしく頂上は高いが決して征服出来ないことではない。要は、蒲生選手級（一九〇以上）を左右三人発掘し、日本人の体格体力（俊敏さとスタミナ）を生かした技術（巧みさと、正確）を身につけ、そして、日本人の心的特性を生かした速攻防コンビネーションという戦法を柱に、10年計画で、しかも、国体強化策のような育成の方法を講じるならば、必ず世界の頂上に立つことは可能であると確信している。

名古屋オリンピックが可能性を帯びて来た今日、東京オリンピックの二の舞を演じない偽にも、夢は大きく、しかも現実となるような力強い進み方をしていかなければならない。

ドイツのハンドボール人口は、50万人を越えているそうである。これに対し、我が国は、この十分の一である。

ところで20数年前、100万人のバレーのアドバルーンをあげ、その施策を練り実行して今や、100万人をはるかに越えているバレーボール。

その施策の中で、なんといっても功を奏したのは、東京オリンピック男女チームの重点強化策である。その結果、東京オリンピックでの女子の優勝、続いてミュンヘンでの男子優勝、ンでの男子優勝、そしてモントリオールでの女子優勝がマスコミブームをあおり、これがママさんバレーボールブームを巻き起こしたことは誰もが認める事実だ。

〝名古屋オリンピック迄にハンドボール人口を50万人に〟

これを達成するには男女ナショナルチームが強くなること、現在の愛好者の一人一人が一年に一人づつ10年で10人愛好者を増やせば簡単である

日本協会に、ざん新な企画力が望まれているのも事実だ。いくつかの構想を次号以降に記したい。

北川勇喜

―日本協会ニュース―

専門委員会の人選終わる

日本協会は、6月23日の全国理事会（東京）で、4月以降、編成を急いでいた各専門委員会のスタッフを次のように明きらかにした。（敬称略〇印は兼務者）

◆総務部委員会　大野金一（常務理事、部長）、山田哲雄（理事）高橋健夫（同）

◆企画部委員会　北川勇喜（常務理事、部長）、高田日呂美（理事）、越智武（同）、入江暢一（同）

◆財務部委員会　西村孝雄（常務理事、部長）、中沢重夫（理事）中井泰彦（同）

◆国際部委員会　境井秀三（常務理事、部長）、横地正厚（理事）高松正司（海外駐在代表、在ウィーン）

◆広報部・広報委員会　荒川清美（理事長）、〇大野金一（常務理事）、三浦公（理事）

・機関誌編集委員会　平岡秀雄（常務理事、編集長）、石切山稔治（理事）、古庄昌雄（同）、〇三浦公（同）、〇大野金一（常務理事）、太田利彦、望月豊、島田房二、西元義昭、橋本良子、泉宏、金子永治久田暁、千野恒夫、杉山茂、小松原保彦、水上一、嘱託・田代百合子

◆普及指部導委員会　大西武三（常務理事、部長）、伊藤和夫（理事）、森恭一（同）、〇石切山稔治（同）、若山博（同）、〇遠藤健次（同）新橋満、碇谷寿明、加藤正敏山中善之祐、笹尾保夫、細木健夫宍戸幸一、福本弘、〇島田房二、室川正治、滝口三郎、永井勝雄、北井晴次、浅野鉦也、稲垣雅彦、家村一徹、一宮呂平、樋口道夫、斉藤

◆競技部　安藤純光（常務理事部長）、・審判委員会　岡前義春（理事、委員長）、清水正（理事）近藤金博（同）、岡田豊夫、由利弘加藤雅之、岡本克之、岡村久、河本武夫、日野博、柳井文治、福井正躬、藤田信義、中西敬一、大塚文雄、上久保重次、原信雄、〇島田房二、斉藤実、迫利道、後藤登勝繁夫。

・技術委員会　〇近藤金博（理事、委員長）、〇北川勇喜（常務理事）、〇大西武三（同）、宮崎光市北村尚英、旅逸郎、高橋隆夫、久保田広次、松原紀機、石原達夫、今村幸一、〇家村一徹、千川康夫〇大塚文雄、〇福本弘、飯田誠行高野亮、新井田司

◆強化部強化委員会　渡辺慶寿（常務理事、部長）、幸田末之、竹野幸昭、〇柳井文治、池田鉄哉、山田稔（理事）、〇古庄昌雄（同）、富永勁（同）、藤原侑、北岡大覚、横地宇吉、阿部徳之助、桑名照雄村田弘、山口毅。

日本協会加盟団体リポート

全日本実業団連盟

昭和54年度の当連盟の最大の行事である高松宮杯第20回全日本実業団選手権大会も男子の部は5月18日〜20日愛知県体育館にて大同特殊鋼チームの優勝で、女子の部は5月25〜27日山梨県体育館並びに塩山中学校体育館にて日本ビクターチームの優勝で男子14チーム女子14チーム参加で無事多大の成果をおさめて終了しました。開催県協会の役員はじめ関係各位のご協力に心より御礼申し上げますとともに20回という一つの区切りを礎に更に当連盟が大きく飛躍するため旧倍のご指導ご鞭たつをお願いします。

今回は恒例の行事で年々その目的意義を各チーム関係者がご理解の上、内容も充実し大きな成果をあげている実連ジュニアー合宿についてのべたいと思います。

①目的＝日本ハンドボール界の、中心である実業団連盟を背負う若い選手の社会人スポーツ選手としての心構えの徹底という精神的な指導教育と次代をになう若手選手のうち特に中、高卒者の技術指導、基礎体力の養成等具体的な練習方法を体験さす為自衛隊のご協力により体験入隊を兼ねて合宿訓練を実施し、実連加盟チームの精神面、技術面のレベルアップと相互の親睦をはかるを目的とする。

②期間＝54年度は未定であるが、大体4泊又は5泊の予定（9月下旬）

③指導陣＝○総責任者、理事長、○合宿責任者、富永勁（全日本実連常務理事、自衛隊連盟理事長）○指導陣―竹野奉昭（全日本実連副理事長、日本ナショナルチーム男子監督）。池田鉄哉（全日本実連技術部長日本ナショナルチーム女子監督）福本弘（全日本実連指導普及部長）他日本ハンドボール協会技術部、強化委員会より派遣のスタッフ。

④参加資格―原則として22才未満の男子でその年の全日本実連C登録以上に登録しているチームの選手、③参加人員30名、⑥参加費用は各自負担。

この様にして本合宿の参加者より日本ハンドボールリーグ並に日本ナショナル選手として活躍中の選手も多く、恒例の日韓社会人交流の代表選手も本合宿参加者より必ず数名選ばれている。又、一つの特徴としては、本合宿で学んだ練習方法を各チームに持ち帰ってチーム力向上に役立てている。特に本合宿中禁酒禁煙も今や常識となって自衛隊の隊員もさすがスポーツ選手だと感心している。

次に、現在の実業団登録チームの分布を見ると北海道は皆無で、東北地方も女子1チーム、四国2チーム、九州男、女各1チームということで、この地方の加盟チームの増加に各県関係の方々の絶大なるご協力をお願いしたいと思います。

全日本実連　山田稔

全国高体連ハンドボール部

今年のインターハイは8月1日に開会式、2日より7日の6日間全国都道府県の代表男女各48代表96チームの精鋭を迎えて熱戦が展開されることになった。

男子の古豪では、新居浜工の25回・四日市工の21回・修道19回・氷見18回・添上の17回出場である。

女子は涌谷の26回出場で、これは男女合わせて最多出場である。次いで徳山の22回、和田和洋の21回、山陽女17回、栃木女16回、小松市女15回の出場となっている。

初出場は例年より少なく、男子の新庄工(山形)・土浦一(茨城)・高志(福井)・乙訓（京都）松江南（島根）首里（沖縄）の6校。女子は釧路商（北海道）二俣(静岡)佐久（長野）高岡日大（富山）彦根南（滋賀）倉敷天城（岡山）大正（高知）前原（沖縄）の8校で計14校である。まさに古豪・新鋭入り乱れての混戦は必至である。更に春の選抜出場校男子全チーム女子でも北海道と愛知が変っているだけで楽しみな展開となろう。

▽期間　昭和54年8月1日より8月7日まで。

▽会場・神戸中央体育館（神戸市生田区楠町4）・王子スポーツセンター体育館（同灘区青谷町1の1）・神戸製鋼健保中央体育館（同灘区岩屋町5―5）・川崎重工健保神戸体育館（同兵庫区東山町3の2）・県立神戸高体育館（同灘区城下通1の5の1）

▽日程、8月1日は開会式（神戸中央体育館）のみ。

8月2日は5会場で男女1回戦3日は5会場で男女2回戦、4日は神戸中央、王子SC、神戸製鋼の3会場で男女3回戦、5日は神戸中央、王子SCで男女準々決勝、6日は神戸中央で男女準決勝、7日は神戸中央で男女決勝となっている。なお、インターハイ組み合せと展望は次号に掲載。

◇

全国高体連ハンドボール部は、今年で創立30周年を迎えるが、8月1日神戸で行なう記念式典で、次の各社、各氏に感謝状などを贈呈、これまでの功績を讃えることになった。

（感謝状贈呈者）朝日新聞社殿、中京テレビ放送株式会社・伊藤信之助殿、株式会社アシックス・鬼塚喜八郎殿、明星ゴム工業株式会社・仲田国市殿、モルテンゴム工業株式会社・民秋史也殿、ダッシュマン株式会社・吉沢徳康殿

（特別表彰者(敬称略)）河島武四郎、菅是敬、児玉九十、徳永陸繁、馬場太郎、村山寛、山田計、小袋是郎、山崎金夫、入江新太郎、高橋潔、油井孝一郎、山田仁止、村田弘、河本武夫、北川浩。

（表彰校）▽男子　花巻南、柏崎工、和歌山工、下関中央工、大石田、県岐阜商、那賀、岩国工、佐原、八幡工、松江工、鹿児島工

▽女子　青森西、春日丘、三本松、神埼農、津女、大谷、池田（徳島）、彦根西、新居浜商、大分東

男女とも強豪、順調なスタート

第4回日本リーグ幕開く

第4回日本リーグが、6月23日名古屋で開幕した。今シーズンから、男女とも宿願の2部制を布き、男子は1部を6チームに縮少、女子は、チーム数は8そのままだが、1回総当りに変わった。女子の1回総当りは、第1回以来のこと。

現在までに、男女とも2週が終わり、男子は、連覇を狙う大同特殊鋼（愛知）と、タイトル奪還を目指す湧永薬品（広島）の〝二強〟が順調にスタートを切り、2勝をマークしている。

一方、女子は〝短期決戦〟だけに各チームとも手固い試合ぶりをみせているが、有力といわれた日本ビクター（茨城）、ブラザー工業（愛知）を追うように、ジャスコ（三重）、大崎電気（埼玉）が好調。「戦国時代」を裏付ける序盤となった。

前期は、7月22日までつづき、男子は、各チーム1回戦を終わる。後期は、9月15日から10月28日までの予定である。

男子第1週

第1日（6月23日）名古屋、第2日（24日）神戸で各1試合を行った。

▽名古屋・名古屋市体育館

大同特殊鋼 35（18－6、17－9）15 日新製鋼

得	S	【大同】		【日新】	S	得
0	0	柳川兄	GK	三田	0	0
0	0	大園	GK	筒本	0	0
5	6	中井	FP	泉	6	3
1	3	松原		徳田	7	3
3	4	花輪		大庭	12	1
6	11	柳川弟		吹上	7	3
5	9	大原		脇若	2	1
2	2	中本	（審・斎藤、槇田）	森	9	2
13	14	蒲生		下茂	5	2
0	0	更谷		湯中	0	0
0	0	小野		高木	2	0
0	0	浦田		日野	0	0
3549	(8)		PT		(0)	5015

（PT）日新0、大同8（蒲生PT8、得8）

○…前半開始後の大同の守りはすばらしく、攻めても柳川の速攻などでリード。しかし日新も焦らず、思い切ったプレーで応戦。大同は時間とともに地力を発揮、ひきつけのよさ、パスフォローの正確さで相手を圧倒した。

▽神戸・神戸中央体育館

湧永薬品 32（18－9、14－8）17 本田技研鈴鹿

得	S	【湧永】		【本田】	S	得
0	0	福井	GK	柴田	0	0
0	0	大城	GK	大畑	0	0
6	10	津川	FP	田上	7	4
3	6	穂積		佐藤	14	4
0	0	藤本		喜井	6	5
4	6	戸田		豊岡	2	0
1	1	内田		佐々木	6	2
4	4	松本	（審・新井、狩野）	矢野	2	2
5	6	山本		西田	0	0
1	2	原田		野口	1	0
5	6	生駒		高橋	0	0
3	5	池ノ上		谷元	1	0
3246	(4)		PT		(8)	3917

【PT】本田8（佐藤PT5、得4、田上PT4、得4）、湧永4（穂積PT1、得1、山本PT1、得1、生駒PT1、得1、池ノ上PT1、得1）

○…立ちあがりから津川、穂積を中心とした湧永の得点力が爆発さすがの名GKを抱える本田技も防ぎ切れなかった。

本田技は、得点源・佐藤の動きが、今一つ悪く、湧永の高いディフェンスラインを崩せず、攻めあぐむ時間が多かった。後半は、PT以外得点ができず、期待を裏切る凡戦。

男子第2週

第1日（6月29日）大阪、第2日（30日）宇都宮、第3日（7月1日）市川、浦和で各1試合を行った。

▽大阪・大阪市中央体育館

湧永薬品 27（9－7、18－7）14 大阪イーグルス

得	S	【湧永】		【大阪】	S	得
0	0	福井	GK	本田	0	0
0	0	大城	GK	信貴	0	0
3	9	津川	FP	高橋	5	0
5	7	穂積		源野	5	0
0	1	藤本		足羽	0	0
0	0	志賀		大西	8	5
4	6	戸田		橋本	2	0
0	0	内田	（審・新村、新井）	河原崎	3	0
4	5	松本		早川	2	0
2	6	山本		福井	14	5
6	11	生駒		辻本	15	4
3	6	池ノ上		勝本	2	0
2751	(1)		PT		(2)	5614

（PT）湧永1（生駒PT1、得1）、大阪2（福井PT3、得2、勝本PT1、得0）

○…湧永の高い打点とオフェンスのフットワークが、大阪を大巾に上廻った。

順当な結果のなかで、湧永・生駒の成長が目についた。

▽宇都宮・栃木県立体育館

三陽商会 17（9－10、8－6）16 日新製鋼

得	S	【日新】		【三陽】	S	得
0	0	三田	GK	吉近	0	0
0	0	筒本	GK	田村	0	0
1	3	泉	FP	関	6	1
2	9	徳田		金子	12	6
0	4	大庭		梅屋	4	2
2	10	吹上		坪子	1	1
0	0	日野		稲木	0	0
4	9	脇若	（審・高橋、山下）	三上	4	2
4	9	森		石原	0	0
3	12	下茂		鵜沢	2	1
0	0	湯中		尾形	0	0
0	0	高木		大熊	13	4
1656	(1)		PT		(1)	4217

（PT）三陽1（大熊PT1、得1）、日新1（下茂PT3、得1）

○…前半、三陽は15分まで金子の得点などで7―1とリード、15分以降、関がマークされると得点が止まった。一方、日新は除々に地力を発揮、後半にもつれこんだが、三陽は大熊のシュートで勝負を決めた。三陽の勝因の一つにGK吉近の好守も見のがせない。

▽浦和（速報）

大同特殊鋼 42（21－14、21－5）19 三陽商会

▽市川（速報）

本田技研鈴鹿 24（14－8、10－9）17 日新製鋼

【第2週までの順位】①大同特殊鋼・湧永薬品2戦2勝③本田技研鈴鹿・三陽商会1勝1敗⑤大阪イーグルス1敗⑥日新製鋼3敗

女子第1週

▽名古屋・名古屋市体育館

ブラザー工業 20（12－8、8－2）10 日立栃木

得	S	【ブ工】		【日立】	S	得
0	0	山本	GK	寺沢	0	0
0	0	屋比久	GK	斉藤	0	0
1	3	杏原	FP	吉田	7	1
0	1	竹内		島田	1	0
6	13	則武		山戸	0	0
0	0	増永		大輪	7	4
3	6	宮平		箕輪	2	0
1	1	植田	（審・後藤、内田）	小根沢	0	0
2	3	山村		水上	13	3
6	8	中川		毛塚	0	0
0	0	宮木		大高	1	1
1	3	川村		沖山	4	1
2039	(5)		PT		(3)	3510

（PT）ブ工5（宮平PT3、得3、山村PT2、得2、竹内PT1、得0）、日立3（大輪PT5、得2、水上PT2、得1、島田PT1、得0）

第4回日本リーグ（1部）スケジュール

◇……前期・7月の日程……◇

・7月1日（日）
（女）立石電機—大崎電機（14:00　浦和市民体育館）
大同特殊鋼—三陽商会（15:10　〃　）
（女）日本ビクター—大和銀行（13:00　市川市営体育館）
本田技研鈴鹿—日新製鋼（14:10　〃　）
・7月8日（日）
（女）大崎電気—日立栃木（13:00　東京体育館）
湧永薬品—三陽商会（14:20　〃　）
（女）ジャスコ—北国銀行（13:00　佐久市総合体育館）
大同特殊鋼—大阪イーグルス（14:30　〃　）
・7月14日（土）
（女）ブラザー工業—大和銀行（13:30　島根県立体育館）
湧永薬品—日新製鋼（15:00　〃　）
（女）立石電機—北国銀行（14:30　福井県営体育館）
本田技研鈴鹿—大阪イーグルス（16:00　〃　）
・7月15日（日）
大阪イーグルス—三陽商会（13:50　石川県体育館）
（女）日本ビクター—北国銀行（15:20　〃　）
（女）ジャスコ—大崎電気（14:00　四日市市体育館）
大同特殊鋼—本田技研鈴鹿（15:15　〃　）
・7月21日（土）
（女）立石電機—大和銀行（15:00　京都府立体育館）
本田技研鈴鹿—三陽商会（16:20　〃　）
・7月22日（日）
日新製鋼—大阪イーグルス（15:30　広島県立体育館）
大同特殊鋼—湧永薬品（16:50　〃　）

◇……後　　期……◇

・9月15日（祭）
（女）ジャスコ—日立栃木（14:00　四日市市体育館）
本田技研鈴鹿—日新製鋼（15:15　〃　）
・9月16日（日）
（女）大崎電気—北国銀行（13:00　神戸市中央体育館）
大同特殊鋼—大阪イーグルス（14:30　〃　）
（女）日本ビクター—ブラザー工業（14:30　水海道二高体育館）
湧永薬品—三陽商会（15:40　〃　）
・9月22日（土）
（女）日立栃木—大和銀行（15:00　宮城県スポーツセンター）
大同特殊鋼—本田技研鈴鹿（16:10　〃　）
・9月23日（日）
（女）大和銀行—大崎電気（13:00　花巻市民体育館）
三陽商会—大同特殊鋼（14:30　〃　）
大阪イーグルス—湧永薬品（14:50　大分県総合体育館）
（女）立石電機—ジャスコ（13:30　〃　）
・9月24日（休）
（女）日本ビクター—立石電機（14:00　熊本市体育館）
日新製鋼—湧永薬品（15:10　〃　）
・9月29日（土）
（女）日立栃木—北国銀行（15:00　京都府立体育館）
本田技研鈴鹿—湧永薬品（16:20　〃　）
・9月30日（日）
（女）日本ビクター—大崎電気（13:00　富山市体育館）
大阪イーグルス—三陽商会（14:20　〃　）
（女）立石電機—ブラザー工業（13:30　沖縄奥武山体育館）
日新製鋼—大同特殊鋼（15:30　〃　）
・10月6日（土）
（女）ジャスコ—ブラザー工業（14:00　静岡草薙体育館）
三陽商会—本田技研鈴鹿（15:20　〃　）
大阪イーグルス—日新製鋼（15:30　大阪河内長野体育館）
・10月26日（金）
本田技研鈴鹿—大阪イーグルス（17:00　大阪市中央体育館）
（女）大和銀行—北国銀行（18:20　〃　）
・10月27日（土）
（女）日立栃木—立石電機（14:00　呉市立体育館）
日新製鋼—三陽商会（15:10　〃　）
・10月28日（日）
（女）ブラザー工業—大崎電気（13:00　名古屋市体育館）
（女）日本ビクター—ジャスコ（14:10　〃　）
湧永薬品—大同特殊鋼（15:20　〃　）

▽神戸・神戸中央体育館
ブラザー工業 13（6－2、7－4）6 北国銀行

得	S	【ブ工】		【北国】	S	得
0	0	山本	GK	酒谷	0	0
0	0	屋比久	GK	高橋	0	0
0	0	杏原	FP	庄田	1	0
0	0	竹内	FP	中山	2	0
2	2	則武	FP	本田	2	1
0	0	増永	FP	木戸	15	1
6	11	宮平	FP	千歩	10	2
0	0	植田	FP	木内	0	0
1	4	山村	FP	八木	6	2
4	8	中川	FP	西出	0	0
0	0	尾崎	FP	坂	0	0
0	2	川村	（審・丸岡・光嶋）	宮西	0	0
13	27	(4)	PT	(0)	36	6

（PT）ブ工4（宮平PT4、得4、山村PT1、得0）、北国0（木戸PT2、得0、千歩PT1得0）

女子第2週

ビクター早々と2勝

▽大阪・大阪市中央体育館
ジャスコ 21（10－7、11－3）10 大和銀行

得	S	【ジャ】		【大和】	S	得
0	0	山本	GK	丸山	0	0
0	0	矢部	GK	茂利	0	0
1	1	平田	FP	宮本	10	2
6	8	松下	FP	若松	0	0
0	0	林	FP	宮家	9	1
4	4	金田	FP	増永	4	1
0	0	横山	FP	東木	1	0
4	8	河田	FP	米山	2	1
0	0	笠	FP	西田	4	3
4	5	若田	FP	門	0	0
2	3	山本	FP	千原	8	2
0	2	辻本	（審・望月・北岡）	鈴木	1	0
21	31	(5)	PT	(0)	39	10

（PT）ジャ5（松下PT4、得4、河田PT1、得1）、大和0（増永PT1、得0）

▽宇都宮・栃木県立体育館
日本ビクター 21（10－10、11－8）18 日立栃木

得	S	【日ビ】		【日立】	S	得
0	0	鈴木	GK	寺沢	0	0
0	0	塙	GK	斉藤	0	0
5	8	加藤	FP	吉田	9	4
0	7	穂積	FP	島田	10	5
9	13	小島	FP	大輪	2	2
1	3	染谷	FP	箕輪	0	0
3	4	伊藤	FP	小根沢	0	0
0	0	寺村	FP	水上	9	3
3	4	池田	FP	毛塚	0	0
0	0	村上	FP	大高	3	1
0	0	高橋	FP	上田	0	0
0	0	志村	FP	沖山	4	3
21	39	(7)	PT	(4)	37	18

（PT）日ビ7（小島PT6、得4、池田PT2、得2、加藤PT1、得1）、日立4（大輪PT2、得2、島田PT2、得1、水上PT1、得1）

▽浦和（速報）
大崎電気 13（8－5、5－5）10 立石電機

▽市川（速報）
日本ビクター 18（8－5、10－3）8 大和銀行

大崎、三景早くも4勝（入替戦出場権）
日本リーグ2部前期戦

新発足の日本リーグ2部は男子に大崎電気（埼玉）、三景（東京）、自衛隊勝田（茨城）、セントラル自動車（神奈川）、トヨタ車体（愛知）、日鉄建材（大阪）の6チーム、女子にムネカタ（福島）、東京重機工業（東京）、和歌山県商工信用組合（和歌山）の3チームの参加をみて、6月23日茨城・笠間市民体育館で幕をあけた。

男子が1回総当り、女子が2回総当りで前期として組みこまれた男子8試合、女子3試合は、すでに終了、男子の大崎と三景は早々と入れ替え戦出場権を確保した。後期は9月22日から3日間名古屋の予定である。

男子

▽第1日（6月23日・笠間市民体育館）

大崎電気（埼玉）32（15−9、17−0）9 セントラル自動車（神奈川）

＜得点者＞【大】斉藤11、松岡8、椿原4、佐伯3、橋本、新田、長野各2

【セ】加藤、鮫島各4、岸野1

大崎は開始50秒、2分10秒椿原のゴールを口火に一気に17ゴール。セ自動車は後半20秒加藤が初ゴールという低調で、勝負にならなかった。

三景（東京）23（13−9、10−12）21 自衛隊勝田（茨城）

＜得点者＞【三】鈴木7、中馬5、地主園4、山村3、加藤、村田各2

【勝】額賀7、斉藤6、藤枝4、大阪間2、高岡、鈴木各1

額賀の鋭い切りこみを主体にした勝田の攻撃に、三景は先行されつづけ、ペースを奪い返したのは後半20分すぎ17−17から鈴木の連続得点が決まった時という苦戦。

▽第2日（24日・笠間市民体育館）

三景 26（16−7、10−5）12 セントラル自動車

＜得点者＞【三】鈴木5、加藤、地主園各4、島中、村田、上野各3、山村、中馬各2

【セ】日野、佐藤、鮫島各3、加藤、岸野、小山各1

セ自動車は、大崎戦よりも、はるかにチーム力がまとまり、前半20分4−6と乱調の三景に食い下ったが、そのあとは、地力のある相手におしまくられた。

大崎電気 39（20−6、19−7）13 自衛隊勝田

＜得点者＞【大】松岡9、斉藤8、新田5、椿原、佐伯各4、橋本、長野、東江各3

【勝】額賀8、藤枝、高岡、斉藤、鈴木、小松各1

大島は、前半は斉藤、後半は松岡が豪快にシュートを決め、なんとか食いつこうとする勝田を突き放した。勝田は、三景戦につづいての善戦で、好感のもてる試合ぶりだった。

▽第3日（30日・東京重機体育館）

大崎電気 32（15−5、17−7）12 トヨタ車体（愛知）

＜得点者＞【大】長野7、斉藤6、新田、椿原各5、松岡4、橋本3、佐伯2

【ト】宮松、山田、高橋各3、荻原2、牧1

トヨタの実力は、実業団の第2グループでは、かなり評価されていたが、こうして元日本リーグチームと対戦してみると、スピードがまるで違う。

三景 28（12−9、16−8）17 日鉄建材（大阪）

＜得点者＞【三】鈴木8、地主園、中馬各6、村田4、島中3、上野1

【日】池辺7、若本6、清原2、素原、玉嶋各1

三景は、不調とはいえ、ディフェンスのマークが甘い日鉄相手に個人技をつなぎあわせただけで楽勝。

▽第4日（7月1日・東京重機体育館）

大崎電気 30（16−10、14−7）17 日鉄建材

＜得点者＞【大】斉藤8、椿原7、長野5、新田4、橋本3、佐伯2、東江1

【日】清原6、池辺5、若木、玉嶋、外山各2

日鉄は、10分まで3−3とせりあったが、大崎は長野、椿原、橋本の連取で、あっさり主導権を握り、危な気なく4勝目。

三景 28（12−10、16−7）17 トヨタ車体

＜得点者＞【三】村田9、鈴木8、地主園5、中馬3、佐々木、山村、上野各1

【ト】宮松7、高橋5、大塚2、中川、山田、萩原各1

トヨタに勝機もとみられた一戦だが、三景は久々に村田−鈴木の看板コンビが鋭い攻撃をみせ20分12−6、早々と大勢を決めた。

【第4日終了までの順位】①大崎電気、三景4戦全勝③セントラル自動車、自衛隊勝田、トヨタ車体、日鉄建材2敗

女子

ムネカタ、重機に先勝

▽第1日（6月24日・笠間）

ムネカタ（福島）14（5−7、9−4）11 東京重機（東京）

＜得点者＞【ム】清水み6、物井4、石田2、広田、大河原各1

【重】沖山4、池田3、寺西2、川木、鈴木各1

いきなり2部の優勝争い。互角の立ち上りから、ムネカタは物井の活躍などで押し気味となり、20分7−7から清水、広田で勝ち越し点をあげた。

後半は、ともにプレーが慎重すぎ、重苦しいムードとなったが、先行するムネカタに余裕があり、四たび点差としながら、追いつくことができなかった。

▽第2日（30日・東京重機）

東京重機 23（9−6、14−3）9 和歌山県商工信組（和歌山）

＜得点者＞【重】川本9、池田6、沖山、鈴木各4

【和】清水6、塩崎2、山本1

重機が押しまくった。和歌山は手駒が少ない上、プレーにスピードがなく、しかも、型にはまらぬと攻撃できぬもろさがあり、わずかに清水のシュート力が光っただけ。

▽第3日（7月1日・東京重機）

ムネカタ 26（14−5、12−6）11 和歌山県商工信組

＜得点者＞【ム】岡部、石田、物井各6、大河原4、広田3、落合1

【和】奈手3、清水、塩崎、遠藤、蒲田各2

大同、湧永から王座を奪還

全日本実業団男子

第20回全日本実業団選手権男子の部は、5月18日から20日まで、名古屋の愛知県体育館に10チームが参加して行われた。

日本リーグ開幕を一カ月後に控えて、かっこうのトライアル・ゲームとなり、各チームとも新戦力を加え、熱のこもった試合をつづけたが、決勝は予想どおり、大同特殊鋼(愛知)×湧永薬品(広島)の宿敵同士の顔合せから、大同が快勝、2月の仇をとった。

▽1回戦（2試合）

自衛隊勝田(茨城) 19（5—11 14—3）14 日鉄建材(大阪)

三景(東京) 24（10—9 14—5）14 神戸製鋼(兵庫)

▽準々決勝

本田技研鈴鹿(三重) 26（15—8 11—14）22 三陽商会(東京)

日新製鋼(広島) 23（9—10 14—9）19 大崎電気(埼玉)

湧永薬品(広島) 42（22—6 20—5）11 自衛隊勝田

大同特殊鋼(愛知) 32（17—5 15—7）12 三景

▽敗者トーナメント1回戦

大崎電気 34—16 日鉄建材

三陽商会 26—14 神戸製鋼

▽同2回戦

大崎電気 30—21 三景

三陽商会 27—18 自衛隊勝田

▽勝者戦・準決勝

大同特殊鋼 32（15—9 17—2）11 日新製鋼

	【大同】	得	【日新】	得
GK	柳川兄	0	三田	0
GK	大園	0	筒本	0
FP	大原	6	泉	3
FP	中本	4	徳田	0
FP	蒲生	7	洞ケ瀬	2
FP	中井	7	大庭	2
FP	柳川弟	3	吹上	2
FP	花輪	2	脇若	1
FP	更谷	0	下茂	0
FP	松原	1	森	1
FP	小野	1	日野	0
FP	浦田	1	湯中	0

32（3）PT（1）11　（審・久保田、吉田）

○…今季の日本リーグでダークホース視される日新の試合ぶりに注目が集ったが、大同は、まったく問題としないパワーを見せつけ前半20分すぎ、早くも大勢を決めた。

日新は、洞ケ瀬の復調など、明るい材料はあるが、いぜん試合運びがオーソドックスすぎる。もう少し〝ずるさ〟があっていい。

湧永薬品 30（14—11 16—6）17 本田技研鈴鹿

	【湧永】	得	【本田】	得
GK	福井	0	柴田	0
GK	大城	0	大畑	0
FP	穂積	4	田上	4
FP	戸田	3	佐藤	6
FP	池ノ上	5	谷元	2
FP	生駒	5	喜井	3
FP	津川	2	矢野	1
FP	松本	4	豊岡	0
FP	藤木	2	佐々木	0
FP	内田	0	高橋	1
FP	山本	5	西田	0
FP	志賀	0	松本	0

30（2）PT（1）17　（審・角、奥村）

○…一週前、東海実業団選手権で大同を破っている本田技が、〝二強連破〟を果たすかどうか、注目が集ったが、湧永は、スタートから一気にとばし、あっさり、前半で勝負をつけた。

本田技は、後半、ほぼ互角の戦況だっただけに、個人技主体で、湧永守備陣の好餌となった前半の拙攻は、反省が必要。

▽敗者トーナメント・7～8位決定予備戦1回戦

自衛隊勝田 23—21 日鉄建材

三景 33—19 神戸製鋼

▽同2回戦（7～8位決定戦）

三景 30（11—7 19—8）15 自衛隊勝田

三景が7位、自衛隊勝田が8位

▽敗者トーナメント・3回戦

本田技研鈴鹿 26—22 大崎電気

三陽商会 29—18 日新製鋼

▽同4回戦（5～6位決定戦）

日新製鋼 19（9—8 10—8）16 大崎電気

日新が5位、大崎が6位

▽同5回戦（3～4位決定戦）

本田技研鈴鹿 22（9—11 13—6）17 三陽商会

○…本田技が、パワー攻撃を見せつけた。

この試合ぶりをみていると、なぜ大同、湧永に肉薄できないかと思うのだが…。

三陽は、大熊（元大崎電気）の加入で、関、金子と組む攻撃陣に多彩さと粘りがでてきた。

	【本田】	得	【三陽】	得
GK	柴田	0	吉近	0
GK	大畑	0	田村	0
FP	佐藤	6	関	3
FP	田上	4	金子	4
FP	豊岡	1	大熊	4
FP	喜井	5	石原	0
FP	矢野	1	梅屋	1
FP	佐々木	4	坪子	2
FP	西田	0	稲木	0
FP	高橋	1	三上	2
FP	谷元	0	鶴沢	1
FP	吉山	0	小倉	0

22（2）PT（3）17　（審・川島、森）

▽決勝戦

湧永、好スタート実らず

大同特殊鋼 16（9—5 7—6）11 湧永薬品

	【大同】	得	【湧永】	得
GK	柳川兄	0	福井	0
GK	大園	0	大城	0
FP	中井	3	津川	1
FP	蒲生	6	山本	0
FP	柳川弟	3	穂積	4
FP	大原	3	松本	2
FP	中本	0	池ノ上	2
FP	花輪	1	戸田	1
FP	松原	0	藤本	1
FP	小野	0	志賀	0
FP	浦田	0	生駒	0
FP	更谷	0	原田	0

16（2）PT（2）11　（審・吉田、久保田）

○…今シーズン初対戦。湧永は、このところ、スタートはいつもいい。この日も11分3—0。大同は慌てない。この展開で追撃を奏効させているケースが多いからだ。

湧永は4—1とリードしたあと2本のPTをはずし、みすみす好機を逸する。大同ベンチとしてはますます「安心」だ。

前半なかばすぎから、大同は、マークされていた蒲生を、ポストに立たせる。長身のポストマンを配球源に反撃、一気に4—5。

湧永は、21分のPTで6—4としたが、このあと約20分間ノーゴール。大同へ、再び反撃のお膳立てを提供してしまう。

大同は、前半終了間ぎわ、7—6と逆転。

後半を迎えると、大同の攻撃はいっそう勢いづき、11分40秒には15—6と大差をつけた。

湧永は、それでも試合を捨てず池ノ上のPTから、連続4ゴールをあげたが、大同は、26分中井がダメ押し、勝負を決めた。

湧永としては、2月の全日本実業団優勝から、わずか3カ月で、その王座を、明け渡すことになってしまったが、あまりにも、反省点の多い試合といえた。

特に、絶好機を自滅で逃すことと、連続失点は〝緊急修正〟が必要。

なお、女子の部は、5月25日から甲府市で行われ、本誌5月号速報のとおり日本ビクターが優勝している。

★ベストセブン

▽GK 柳川 清（大同）①
▽FP 中井 武三（大同）⑦
蒲生 晴明（大同）③
津川 昭（湧永）③
穂積 豊彦（湧永）⑤
田上 敬三（本田）①
大熊 昌巳（三陽）①

○内は受賞回数

釜山産大(女子)に日本側勝利奪えず

第12回（女子第7回）日韓学生交流は，韓国から男子・全北大，女子・釜山産業大（旧・韓星女大）が来日して，6月5日から9日まで国内各地で男女各4試合を行った。

日本側は各地のピックアップチームが対戦したが，男子は2勝2敗，女子は釜山産大のまとまりに一矢も報えず4敗。

通算成績は男子が日本側の56戦33勝3分20敗，女子が韓国側の23戦15勝2分6敗で，韓国チームは第4回（50年）以来，引き分け1をはさんで11連勝である。

男子・全北大とは五分・日韓学生交流

男子

第1戦・東北学生選抜との試合は6月5日、仙台の宮城スポーツセンターで行われた。審判＝森恭一、李文植（韓国）

全北大（韓国） 26（10−8、16−3）11 東北学生選抜

【東北学生選抜】		得
GK	芳　賀（東北学院）	0
GK	川　本（仙台大）	0
FP	佐々木（東北学院）	2
FP	菊　地（宮城教大）	1
FP	熊　谷（東北学院）	0
FP	高　橋（仙台大）	2
FP	中　野（仙台大）	1
FP	弓　場（東北学院）	2
FP	風　間（東北大）	0
FP	木　下（福島大）	3
FP	片　山（仙台大）	0
FP	町　屋（弘前大）	0
PT	（2）	11

得	【全北】	
0	張文燮	GK
2	呉漢鍾	FP
1	宋観永	FP
5	姜徳寿	FP
5	金樺訣	FP
5	安孝南	FP
5	安採寧	FP
0	安雄鎬	FP
0	李沐朝	FP
3	金永燮	FP
26	（5）	PT

○…全北は、洗練されたチームプレーをみせ、コンビのとれぬ東北を圧倒、12分までに4本のPTを含む9ゴールを連取、さらに安（孝）の巧技などで、18分12−0と勝負をあっさり決めてしまった。

東北は、このあまりにも強烈な先制攻撃に、ファイトをなくし、後半どうにか、木下を中心にゴールをかえしはじめたものの、後半7分21−3という戦況では、どうすることもできず、完敗だった。

GK井藤の好守光る

第2戦・関東学生選抜との試合は、6日、東京体育館で行われた。審判＝近藤金博、大塚文雄

関東学生選抜 26（14−8、12−6）14 全北大

【全北】		得
GK	張文燮	0
GK	李仁澈	0
FP	宋観永	0
FP	呉漢鍾	1
FP	姜徳寿	6
FP	金樺訣	3
FP	安孝南	2
FP	安採寧	1
FP	安雄鎬	0
FP	李沐朝	0
FP	金永燮	1
PT	（2）	14

得	【関東学生選抜】	
0	井　藤（日体）	GK
0	加　藤（慶応）	GK
2	松　井（日体）	FP
2	滝　口（筑波）	FP
2	仲　田（日大）	FP
4	山　口（日大）	FP
1	溝　部（日体）	FP
3	猪　野（中央）	FP
6	武　藤（早稲田）	FP
6	西　山（筑波）	FP
0	大　京（東海）	FP
0	三本松（国士館）	FP
26	（0）	PT

◇交代【関】FP植木（中央）得0

○…「充分な合同練習ができなかった」という関東を、楽勝に導いたのは、GK井藤（全日本）の好守によるところが大きい。

関東のディフェンスの当りは、中途半端だったが、井藤が、全北のシュートを、ほとんどはじきとばし、しかも、攻めては仲田（全日本）や武藤に絶妙のパスを送って速攻を実らせた。

全北も、金のロングを切り札に再三いい形となったが、最後の詰めが甘く、前半18分5−7のあとは、関東に思いどおりの試合をさせてしまった。（杉山）

フットワークいい全北

第2戦・東海学生選抜との試合は、8日、名古屋市体育館で行われた。審判＝角紘昭、李文植

全北大 20（12−5、8−5）10 東海学生選抜

【東海学生選抜】		得
GK	松　井（名城）	0
GK	上　村（中京）	0
FP	榊　原（名城）	0
FP	小　林（名城）	3
FP	各　務（名城）	0
FP	曽　見（中京）	0
FP	古　橋（中京）	0
FP	中　村（名城）	1
FP	小　原（名古屋大）	1
FP	玉　井（名城）	2
FP	片　山（中京）	2
FP	沖　藤（中京）	1
PT	（1）	10

得	【全北】	
0	張文燮	GK
0	李仁澈	GK
2	宋観永	FP
1	呉漢鍾	FP
1	金樺訣	FP
1	安孝南	FP
3	安採寧	FP
0	安雄鎬	FP
0	李沐朝	FP
4	金永燮	FP
8	姜徳寿	FP
20	（6）	PT

○…全北は、6分先取点を東海に許したが、すぐ姜、宋らのポストプレーで立ち直り、逆に先行して、試合を進めた。

東海は、小林、片山らで21分5−6と粘り、勝機を狙っていたが、そのあと9分間ノーゴール、しかも全北に2点を加えられたのが、結果的には響いた。

後半、余裕の生じた全北は、切れのいいフットワークで好機をつかみ、しかも4本のPTを活かしダブルスコアの快勝となった。（横井）

井上が貴重なゴールかせぐ

第4戦（最終戦）・関西学生選抜との試合は、9日、大阪の東淀川体育館で行われた。審判＝望月伸三郎、北岡大覚

関西学生選抜 20（7−8、13−11）19 全北大

【全北】		得
GK	張文燮	0
GK	李仁澈	0
FP	宋観永	0
FP	姜徳寿	8
FP	金樺訣	5
FP	安孝南	1
FP	金採寧	0
FP	英漢鍾	1
FP	安雄鎬	0
FP	李沐朝	0
FP	金永燮	4
PT	（3）	19

得	【関西学生選抜】	
0	西　川（同志社）	GK
0	中　尾（大経大）	GK
2	小　林（大体大）	FP
6	井　上（大体大）	FP
0	覚　間（大経大）	FP
5	粟　屋（同志社）	FP
1	木　下（京産大）	FP
1	土　肥（阪大）	FP
4	藤　次（阪大）	FP
0	松之内（近大）	FP
0	安　田（大体大）	FP
1	砂　川（大体大）	FP
20	（0）	PT

○…全北大は、この交流で来日したチームとしては初の国立校。基本にオーソドックスな攻めと、忠実な守りは好感がもてたが、韓国学生ナンバーワンというにしては迫力という点で、もう一つ。

関西は、再三ピンチを招いたが、その都度、粟屋と井上の巧技で相手を突き放し、特に、井上が後半17分17−16から奪った3ゴールは勝利をもたらす大きなものだった

女子

東日本、後半に崩れる

第1戦・東日本学生選抜（東北関東学連混成）との試合は、6月5日、仙台の宮城スポーツセンターで行われた。審判＝加藤正彰、勝山宏

釜山産大（韓国） 16（10−4、6−5）9 東日本学生選抜

得	【釜山】		【東日本学生選抜】	得
0	金仁淑	GK	長島（筑波）	0
0	孫順福	GK	高橋（日体）	0
0	厳貞淑	FP	磯山（東女体）	4
0	梁明子	FP	江畑（日女体）	0
6	金昌順	FP	山田（日女体）	0
7	金美淑	FP	藤本（東女体）	2
0	金貞淑	FP	川波（東女体）	1
1	陳済京	FP	矢野（日体）	2
0	金得善	FP	藤岡（筑波）	0
2	李得照	FP	鈴木（日体）	0
		FP	渡辺（宮城教大）	0
		FP	五日市（岩手大）	0
16	（4）	PT	（0）	9

○…緒戦のためか、固さのみえる両チームだったが、11分東日本が磯山で先制点をあげたのを合図とするかのように、急テンポの展開になり、激しい点のとりあいとなった。

釜山は、前半終了直前、5－5から金(美)のロングで先行、後半開始後、金(昌)の4連続ゴールで一気に9－5とした。

東日本は6分川波で6－9、期待をもたせたが、そのあと、釜山の速攻をうけ、連続6失点、勝負を決められた。東日本は、前半3本のPTを落したのが痛い(加藤)

関東、あと一歩及ばず

第2戦・関東学生選抜との試合は、6日、東京体育館で行われた

審判＝後藤登、李文植

釜山産大 18（9－7, 9－10）17 関東学生選抜

得	【釜山】		【関東学生選抜】	得
0	金仁淑	GK	長島（筑波）	0
0	孫順福	GK	高松（東女体）	0
1	厳貞淑	FP	磯山（東女体）	5
2	梁明子	FP	川波（東女体）	4
6	金昌淑	FP	矢野（日体）	3
8	金美淑	FP	江畑（日女体）	4
0	金貞淑	FP	藤岡（筑波）	0
0	陳済京	FP	山田（日女体）	0
0	金得善	FP	鈴木（日体）	0
1	李徳照	FP	藤本（東女体）	1
		FP	高橋（東学大）	0
		FP	小林（筑波）	0
18	（5）	PT	（1）	17

○…後半21分14－17のあと、関東は、プレス・ディフェンスを布き、疲れののぞく釜山を圧迫。川波とPTで、残り1分16－17。逆転を期待させたが、釜山は、24分20秒、エース・金(美)が鮮やかなフットワークで関東守備陣を抜き貴重なゴール、直後の関東の反撃を許したものの、1点差で逃げ切った。

試合はたえず釜山が先行。関東も再三チャンスをつかむのだが、後半9分11－11が精いっぱい。このあとの勝負機を、相手の早い帰陣にあって封じられ、終盤の猛反撃も実らなかった。(杉山)

釜山、連続9ゴールの猛攻

第3戦・東海学生選抜との試合は、8日、名古屋の愛知県体育館で行われた。審判＝大矢隆司、荒川悟

釜山産大 19（11－3, 8－3）6 東海学生選抜

得	【釜山】		【東海学生選抜】	得
0	金仁淑	GK	多田（中京女）	0
0	孫順福	GK	伊藤（愛教大）	0
1	厳貞淑	FP	野々宮（中京女）	0
2	梁明子	FP	鈴木（中京女）	0
1	金昌順	FP	松下（中京女）	2
5	金美淑	FP	森定（中京）	1
0	金貞淑	FP	木野村（中京女）	1
5	陳済京	FP	足立（岐阜大）	2
0	金得善	FP	永井（中京）	0
5	李徳照	FP	浅井（中京）	0
		FP	鈴木（中京）	0
		FP	長谷川（三重大）	0
19	（2）	PT	（2）	6

○…立上りから釜山は強い当りで、東海の攻撃をつぶすとともに攻めては速攻でゴールを狙った。

東海は5分1－1と、まずまずの滑り出しをみせたが、そのあとは、攻撃に鋭さがなく、釜山ペース。金(美)、李らの速攻、ミドルなどで、釜山は6分から20分までに連続9ゴール、大差をつけた。

後半も、釜山の動きは劣えず、金(正)の反則退場などあったが、戦局には影響なかった。キャプテン金(美)のシャープな動きが、一際光った。(竹内)

釜山、まとまりある攻守

第4戦(最終戦)・関西学生選抜との試合は、9日、大阪の東淀川体育館で行われた。審判＝光島礎雄、李文植。

釜山産大 21（10－6, 11－6）12 関西学生選抜

得	【釜山】		【関西学生選抜】	得
0	金仁淑	GK	柴田（大体大）	0
0	孫順福	GK	宮崎（武庫川）	0
3	厳貞淑	FP	吹田（武庫川）	1
0	梁明子	FP	木下（武庫川）	6
6	金昌順	FP	浅井（大体大）	0
8	金美淑	FP	田辺（大体大）	0
0	金貞淑	FP	長谷川（武庫川）	0
1	陳済京	FP	坂本（武庫川）	2
0	金得善	FP	清水（武庫川）	1
3	李徳照	FP	沢村（武庫川）	2
		FP	玉置（武庫川）	0
		FP	稲垣（成蹊）	0
21	（5）	PT	（6）	12

○…関西は、木下の6PTポイントなどで、なんとか一矢をと狙って善戦したが、金(美)、金(昌)のコンビ攻撃を中心とする釜山の多彩な攻撃と、手固いディフェンスにあい、じわじわと点差を拡げられ、後半は、疲れから、さらに一方的となり、釜山は、みごとに全勝で、日本初遠征を終えた。

洪淳泰韓国副会長に聞く

韓国学生チームに同行して韓国協会・洪淳泰副会長が来日。最近の韓国ハンドボール界の情勢などを6月6日東京で、次のように語った。

「大学チームや、男子社会人（実業団）の普及は、もうひとつ物足りないが、男女とも高校以下は着実に上昇カーブをみせている。

特に、昨年の世界選手権予選で女子が、日本を破ったことで、女子界は、大きな刺激をうけ、ハリがでている。

国内的にも、あの一戦(予選)以来、ハンドボールへの評価が高まり、特に、マスコミの関心を集められるようになった。

5月の種別選手権（注・韓国のビッグイベント）も、韓国放送（KBS・TV）が、全面的にバックアップしてくれた。

今秋のオリンピック予選も、女子は、日本に勝てそうな気がする。

オリンピック候補は、男女とも現在、強化セクションが選考中で6月末、リストが明きらかにされるだろう。

男子は学生現役、女子は実業団が主体の予定だ。

女子の実業団は、現在4つの有力チームがあるが、来年までに、さらに2～3増えよう。

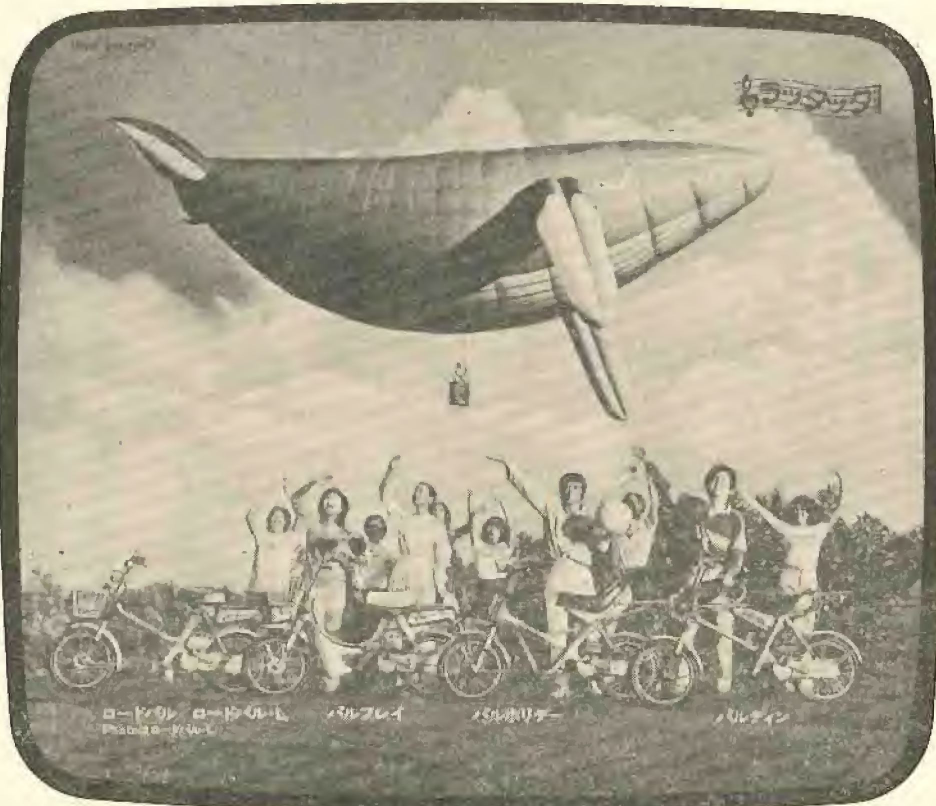
オリンピック予選を、韓国が引き受けるかのような報道が、日本にも伝えられていたが、韓国協会は、昨年くれの役員(理事)会で、経済的理由からその意思のないことを、確認している。

11月に、中国で、第2回アジア選手権が開かれるが、この大会にも、是非、出場したいと思う。

アジアのハンドボール界は、ひと頃と比べものにならぬほど、大きくなっているが、我々は、日本にリーダーシップをとって欲しいと願っている。

日韓学生も、近い将来、極東学生選手権あるいは、アジア学生選手権といった形に、発展させたいものだ。」

パルパル エブリボディ。



5タイプそろったホンダのパルシリーズ。乗りやすさは共通。お好きなタイプが選べます。

ロードパルの仲間たちが、たくさん走りはじめています。あの道、この道が、急にバラエティ豊かになりました。スタイルいろいろ。色とりどり。乗る人の個性と、パルの個性が…なぜかぴったり合うのです。5タイプそろったパルのうち、あなたのお気に入りはどれですか。もちろん、やさしさ・乗りやすさは、みんなおなじ。気軽にどこかへ散歩、としゃれてみたくなります。

パルはユニーク。新しい仲間も、個性たっぷり。●パルフレイ：エレガントなデザイン。乗り降りのラクなU字フレーム(車体中央)。泥ハネから足もとを守るレッグシールドなど親切設計が特長。●パルホリデー：ユニークなヒップアップ・シート。しゃれた感覚のバーハンドル。タウンで似合うバイクです。●パルディン：スリムなパイプフレーム、イキなクロームメッキ・フェンダーがナウな感じ。

こぞんじですね。ラッタッタ。
ロードパル ——— 標準現金価格 ¥59,800

クイックスタート、とってもべんり。
ロードパル・L ——— 標準現金価格 ¥64,800

乗るかたへの心くばりがいっぱい。
パルフレイ ——— 標準現金価格 ¥75,000

しゃれたスタイル、タウンで似合う。
パルホリデー ——— 標準現金価格 ¥79,000

ヤングの感覚、ナウなフィーリング。
パルディン ——— 標準現金価格 ¥79,000

ヘルメットをかぶろう **HONDA**

「私のパル」を持ちましょう。

パルスクール 免許の取り方だけでなく、正しい乗り方指導までも実施しているのが「パルスクール」の大きな特長。ていねいにご指導しています。



わずかな頭金とかんたんな手続きでお求めいただけます。お支払い方法は、ご予算にあわせていろいろ。クレジットカードはいりません。

★パルスクールとクレジットの詳細は、ホンダ販売店でどうぞ。

本田技研工業株式会社鈴鹿製作所
●〒513●三重県鈴鹿市平田町1907●TEL鈴鹿0593：78－1212〈代表〉

南太平洋諸島のハンドボール

平岡　秀雄

（全日本学生南太平洋遠征チーム監督・東教大ＯＢ）

全日本学生選抜・南太平洋遠征は、フランス協会の要請により実現の運びとなった。しかし遠征に先立ち、藤松博団長（中京大）以下選手団は、不安のおももちで一杯だった。フランス協会から、ニューカレドニア・ニューヘブリデス・タヒチで対戦する旨伝えられていたが、当地にハンドボール協会やチームが存在するかどうかも不明だった。タヒチ島は、観光地として日本でも知られているものの、他の地区はほとんど耳にしない国名だったからである。

出発前の合宿でも、はたして体育館で試合ができるのかも不明で、グランドでの試合をも想定し、試合に備える状態だった。

これらの問題は、出発直前現地ニューカレドニア日本人会の鈴木氏による情報で解消されたが、まだまだ多くの不安を残しての出発となった。

しかし、4月4日21時30分、UTAフランス航空で成田空港を出発し、翌日5日7時45分ニューカレドニア、ヌメア空港に到着した我々選手団から、それまでの不安は吹き飛んでしまった。

当地のハンドボール協会役員の出迎えだけでなく、新聞・テレビの報道陣にまで歓迎を受けることになった。

ニューカレドニアを始めとする3カ国での歓迎の模様は次回の機会に報告することにし、現地協会長との対談からハンドボールの現状をお伝えすることにします。

今回の試合が催されるに到った背景には、フランス統治国による太平洋選手権でのいきさつがある。

現在南太平洋のフランス統治4カ国、ニューカレドニア・ニューヘブリデス・ワリス・タヒチによる太平洋選手権が行なわれている。

この正式種目には、サッカー・陸上競技・テニス・バスケット・水泳など12種目がエントリーされているが、ハンドボールやクリケットなどは残る4種目のなかの選択種目に入っている。この選択種目は、大会開催地に選択権が与えられているが、上記4カ国でより普及されている種目から選ばれることになっている。

ハンドボールが太平洋選手権の種目に加えられるためには、上記4カ国に普及される必要がある。そして将来は大会の正式種目とするのが協会の念願である。

今回フランスナショナルチームと全日本学生選抜との対戦が実現した背景には、本土フランス協会の普及事業と現地南太平洋諸島の協会の要望がマッチしたためであった。各協会はこの大会を契機にハンドボールを大いに普及させたい意向だった。

▼現在の活動情況

▽ニューカレドニア

3年前にハンドボール協会が設立され、現在男子13チーム・女子7チームがクラブに所属している前回の選手権大会では、カレドニア選抜が優勝を果している。

▽ワリス島

まだ協会設立1年だが、男子6チーム・女子2チームを有している。この島の多くの男性がニューカレドニアへ出稼ぎに出ているので現在のチーム数を維持するのがやっとだが、練習試合ではワリス選抜がカレドニア選抜を破っている。

▽ニューヘブリデス

この島はフランスとイギリスの両統治国で、ハンドボールはフランス系学校を中心に行なわれている。協会設立2年目で、高校生中心のチームのせいか選手権では最下位にあまんじている。

会長以下協会スタッフが熱心なので、今後力をつけてくると思われる。

現在男子7チーム・女子6チームが活動している。

▽タヒチ

4カ国のうち最も古く、5年前に協会が設立されている。現在男子成人10チーム・女子10チーム及びヤング5チームからなっている。

また高校でも20チームが活躍している。最近この高校に多くのチームが誕生したのが目立つが、これは、昨年フランス女子ナショナルチームの監督ジャン・クロード・トーマが当地を訪れ、普及活動を行なった結果である。

各国とも、ハンドボールの技術レベルは、まだまだの感があるが今回の国際試合を契機にレベルアップを計りたいところである。

各協会は、本国フランス協会の傘下で活動しており、国際試合を目にしたのは始めてだが、今後とも日本との試合を希望していた。

現在日本では、単独チームによる台湾や韓国との交流試合が盛んに行なわれているが、南太平洋の国々と試合をしてみるのも違った楽しみとなるでしょう。

◆全日本学生－フランス・ナショナル滞同遠征スコア

フランス	23―12	全日本学生
フランス	19―15	全日本学生
フランス	26―13	全日本学生
フランス	30―21	全日本学生

（本誌174号詳報）

九州勢が上位を独占

西部日本学生選手権

中四国・九州両学連による第29回（女子第7回）西部日本学生選手権は、6月24日から26日までの3日間、広島県立体育館に史上最多の男子23女子5校が参加してトーナメントで行われ、男女とも九州勢が上位を独占、男子は久留米工大、女子は福岡大が初の栄冠を握った。

▽男子1回戦
福岡教大（九州）33（16－9、17－11）20 広島工大（中四国）
西南学院（九州）30（12－7、18－10）17 広島修道（中四国）
山口大工学部（中四国）21（9－8、12－10）18 熊本商大（九州）
山口大（中四国）31（16－3、15－4）7 福岡工大（九州）
愛媛大（中四国）31（9－5、22－9）14 東和（九州）
大分大（九州）33（19－12、14－10）22 近大呉（中四国）
岡山大（中四国）15（7－5、8－4）9 九州大（九州）

▽同2回戦
福岡教大 22（10－9、12－12）21 九州産大（九州）
長崎大（九州）19（7－4、12－9）13 西南学院
久留米工大（九州）棄権 香川大（中四国）
福岡大（九州）21（10－12、11－7）19 山口大
熊本大（九州）25（10－3、15－6）9 愛媛大
大分大 24（12－13、12－7）20 鹿児島大（九州）
広大福山（中四国）32（18－5、14－11）16 岡山大
広島大（中四国）36（19－5、17－9）14 山口大工学部

▽同準々決勝
福岡教大 28（13－4、15－7）11 長崎大
久留米工大 26（11－12、15－9）21 広島大
福岡大 19（7－9、12－7）16 熊本大
大分大 20（10－7、10－11）18 広大福山

▽同準決勝
久留米工大 23（9－9、10－10、3－1、1－1）21 福岡教大
大分大 23（9－7、14－9）16 福岡大

▽同3位決定戦
福岡教大 27（11－14、12－9、2－0、2－2）25 福岡大

▽同決勝
久留米工大 20（11－7、9－10）17 大分大

男・久留米工大　女・福岡大

得	【久工】		【大分】	得
0	三池	GK	大城	0
0	角			
2	松原		友田	2
1	矢吹		堤	1
4	前田		伊南	1
2	坂木		奈須野	4
4	檜原		甲斐	6
7	草島		山田	3
0	橋本		薬師寺	0
0	古里		渡辺	0
0	矢野			
0	都			
20	（2）	PT	（5）	17

（審・東、中本）

○…両チームとも、強力な速攻とコンビプレーに欠けるためか、決勝戦にしては、やや迫力に乏しかった。

久工大が、比較的、幅のあるオフェンスを見せたのに対し、大分は、あまりにもポストに頼りすぎディフェンスの前からのシュートに不足した。それに、大分はオーバーステップやチャージングなど個人ミスが多く相手に好機を与えてしまった。（片岡）

福岡教大、反撃及ばず

▽女子1回戦
福岡大（九州）11（6－1、5－5）6 岡山大（中四国）

▽同準決勝
福岡大 11（5－4、6－4）8 九州女大（九州）
福岡教大（九州）11（5－4、6－5）9 山口大（中四国）

▽同3位決定戦
山口大 13（4－6、9－5）11 九州女大

▽同決勝
福岡大 14（8－7、6－5）12 福岡教大

得	【福岡】		【教大】	得
0	大野	GK	井上	0
0	平川			
1	森川	FP	小林	5
3	森山		寺島	0
4	福島		高橋	1
2	梅崎		利田	1
3	嘉屋		松岡	2
1	谷口		広瀬	0
0	古柳		松本	0
			曽我部	3
14	（0）	PT	（2）	12

（審・平田、西元）

○…福岡大は先取点こそ許したが、すぐに逆転。前半15分7－3とした。

しかし、福岡教大も速攻を決めて反撃、後半に勝負をかけた。

福岡教大は、後半5分同点としたものの、動きに優る福岡大は、そのあと4点連取。教大は、フリースローをとって挽回を狙うがシュートが甘く、18分11－13まで追いつめたが、福岡大に21分ダメ押し点を奪われ、逃げこまれた。

教大にとっては、前半2本のPT失敗が悔やまれるよう。（渡辺）

金沢工大、5シーズンぶり

北信越学生春季リーグは、6月16、17の両日金沢大体育館で行われ、予選リーグから勝ちあがった金沢工大×福井大の優勝決定戦となり、2連勝を狙う福井大が6点連取などで優位に立ったが、金沢工大もよく粘り、後半は、エース宮本のロングを中心に加点し逆転5シーズンぶり11度目の優勝を飾った。

▽予選リーグA組
金沢医大 10（7－7、3－3）10 金沢美術工芸大
福井大 29（14－4、15－6）10 金沢美術工芸大
福井大 14（4－4、10－5）9 信州大
信州大 24（11－8、13－6）14 金沢医大
信州大 16（7－5、9－4）9 金沢美術工芸大
福井大 14（6－6、8－6）12 金沢医大

▽同B組
金沢工大 21（8－5、13－5）10 金沢大
金沢工大 127（13－10、14－8）18 富山大
金沢大 21（12－5、9－8）13 富山大

▽5・6位決定戦
富山大 21（10－7、11－8）15 金沢医大

▽3・4位決定戦
金沢大 25（14－3、11－10）13 信州大

▽優勝決定戦
金沢工大 19（8－8、11－8）16 福井大

3大学室内で慶応勝つ

第19回早慶明3大学室内定期戦は6月16日、東京・早大記念会堂で行われ、慶応が早稲田に勝った一戦で、4度目の優勝を決めた。

早稲田 26－16 明治
慶応 32－17 明治
慶応 20－15 早稲田

【順位】①慶応②早稲田③明治

＜各国にみるハンドボール競技発展史①＞

ドイツにおける近代ハンドボール競技前史

都留文化大学
水上　一
（本誌編集委員）

①はじめに

スポーツの起源を辿る事は大変困難なことである。何故なら、身体運動は取りも直さず人類の歴史と言えるからである。一般にスポーツの発展過程は大きく3つに分けられる。第一段階は実用術としての段階である。例えば、「走る」とは、敵に迫われて逃げることであり、あるいは物を奪いとるために追いかけるという自然段階である。第二段階は実用の目的を離れしだいに「遊戯」として行なわれるようになり、さらに第三段階になると、それが「競技」として組織的に争われるようになる。注①今日競技スポーツとして行なわれている多くのものがこのような過程を経て発展を見たと言えよう。ボールゲームとしてのハンドボール競技も同様に考えて良い。

ところで、ドイツではサッカー競技の歴史書は多数あるがハンドボール競技の歴史書は皆無である

この事は、ハンドボール競技が新しい競技であったからと考えるよりは、手で扱うボールゲームを人類が好んで行なってこなかったからだと言う事ができよう。

なる程、古代エジプトの壁画にボールを手で扱っているのが見られたり、ギリシャ時代にもGalons（ガレノス）が詳細に論じている注②ように手でやる球戯がなされていたのは事実である。しかしながら、未開時代の人間の生活をながめてみると、手は、手の延長としてのバット・スティック・ラケット（生産・狩猟道具、戦闘道具として）を用いる事で用がなされる場面が多く、手で何かをすると言えば、それは極めて小筋的活動でしかなかった。このような日常型態の中からは、ボールゲームと言えば手の延長としてのバット・スティック・ラケットを用いた打球戯が主たるものであった。注③むしろ文字通り手で（mit dem Hand）行なわれる球戯は、お手玉や玉曲芸などに代表される巧技的球戯であった。

とまれ、ハンドボール競技の起源を論ずる場合、ただ単に文字通り手で扱う球戯をハンドボール競技の起源と考えるのには問題があり、具体的には各時代・各民族でのボールゲームを収集し、分類わけをしながら、今日のハンドボール競技に似た型態のボールゲームを辿っていくという作業が必要になってくる。（この問題は又次の機会に論じたい。）

これらの事から、各民族にハンドボール競技の原型と考えられるボールゲームが存在していた事は容易に想像される事であり、事実ドイツを始め、デンマーク、ハンガリ、ソビエト等にも似たようなボールゲームが見られた。注④

今回は、競技スポーツとしてハンドボール競技を組続化し、その後の世界各国に強い影響を与えたドイツをとりあげ、創立期にどのような発展過程を経たのかを考察してみたい。

資料としたのは以下の文献である。

①"Oeutsoher Sport" 1926 -Hamdball-von Carl Schelenz p 199～p 203

②"Das Olympia＝Buch" 1927 -Das Handballapiel- von D. J. Hell p 74～p 83

③"Die Neue Hamdballochule" 1951 von Martin Wendt p7～p 10

②ドイツにおけるハンドボール競技の発展過程

㋑ Raffballopiel から Torballopiel

ドイツにおけるハンドボール競技成立に関して、見逃してならないのはサッカー競技の影響である。1900年頃、すでにドイツではサッカーが人気のあるスポーツとして定着しており、このサッカー競技を土壌としながら競技としてのハンドボールが生まれて来たと考えて良い。（競技理念・競技規則からも推察できる。）

ところで、この頃（1900年ごろ）ドイツの学校や各地のクラブで、"Raffboll" と言われた、ラグビーに似たボールゲームがなされていた。"ひったくりボールゲーム" と言われるように、男性のためのボールゲームであった。1915年になって、ベルリンの女性団体が、この "Raffball" を改良して、女性にも出来るようなボールゲームを行ないだした。これが後に、"Torball" と呼ばれるものであった。

㋺ Torball ゲーム

ベルリンの女性の間で行なわれていたボールゲームは1917年ごろから、"Torbsll" と呼ばれるようになった。このゲームは、20m×



40mのコートで、高さ2m・幅2.50mのゴールを持ち、4mのゴールエリアを持っていた。競技規則としては、ボールを持って走る（歩るく）事、3秒以上ボールを保持する事、相手ボールを奪う事が禁止され、ボールは投げ渡しによってのみ前方に進める事が許されていた。ボールはサッカーボールを使用し、オフサイドの規則もなく、大きな広がりでの配置競技と言えるものであった。

(ハ)ハンドボール競技の成立

(i) Cal Shelonz の尽力

第一次大戦終結後の1919年になると、ドイツでは一日8時間労働の採用が確立し、労働者の間でもスポーツに対する時間が充分に保証されるようになり、女性のための“Torball”競技”は男性や青少年にも出来るものへと、その変革は必然的状況になって来た。このような背景のもと、ベルリンの体育教師カールシエレンツは、このTorball をもとにし男性や青少年にもできるよう規則を作り指導を行なった。これがハンドボール競技であった。この新しい競技は、トーアパール競技が女性のための配置競技と言われるようなおとなしいものから、闘争的ボール競技へと変化した。コートが80m×40mになり、ゴールの高さが2.10m・幅5mとなり、ゴールラインは8mに広がった。オフサイドラインもゴールから16.5m離れて現われた。何よりも大きな変化は、ボールを持って3歩走れるし、相手側の手からボールをはたき落しても良いという事であった。ここにドイツにおいて11人制ハンドボール競技の成立を見た。

(ii) Cal Scholenz の競技観

体育教師であったカール・シェレンツは、この競技に次の2つの価値を与えた。

・自然性の価値：新鮮な空気のもとで動き回るという、人間の絶対的本能と合致している。競技の実施や習得に特別な用意が必要でなく、健康な人なら誰れでもすぐに出来る。

・身体育成としての価値：身体育成に関して、ハンドボール競技で必要とされる走・跳・投を通して諸器官や筋力が促進される

この2つの付価値によって、ハンドボール競技は学校体育のみならず、広く社会の中に影響力を持っていくとシェレンツは確信した。さらにこの付価値を生かすためには競技は不必要に中断されてはならないし、ボールは手で大地から持ちあげられるぐらい扱いやすいものでなくてはならないとし、競技像を明確なものにしていった。

(ニ)体育協会とスポーツ協会でのハンドボール競技の展開。

この時代、とくに学校体育の制度化、指導者養成に力を注いでいたのが体育協会であり、カール・シェレンツも重要なメンバーの一人であった。そういうわけでハンドボール競技はまず教育現場の運動教材として扱われていたにすぎなかった。しかし国民的に広く普及するには、スポーツ競技団体としての地位をスポーツ協会の中で得る事が急務であった。当時のドイツ体育委員会委員長カール・ディームは Brandenburg の陸上競技協会に、このハンドボール競技というものをとり入れ、積極的に助力を与えてくれるよう要請した。この事でスポーツ競技団体としての地位を得る機会がおとずれた。

このドイツ体育協会とドイツスポーツ協会とのハンドボール採用により、ハンドボール競技は広くドイツ全土に普及していく事になった。しかし両協会でのハンドボール競技にその後若干の相違が見られるようになった。それは、スポーツ活動を教育的側面から論ずる体育協会とスポーツ活動をあくまで競技スポーツとして論じるスポーツ協会との姿勢の違いでもあった。その相異点は競技時間と競技場の大きさであった。

体育協会では、何よりも教育的配慮により、女性や青少年にとってこの競技が過度な運動にならないように注意が払われていた。それ故80m×40mのコート上で短時間のゲームがなされていたが、あらゆる点で未熟な段階では勝負を決することが困難であった。

スポーツ協会側は、勝負が決しにくいものは、競技性に欠けると考えた。そして、競技時間を長くし、コートを大きくすることで体力的な側面からでも勝負が決まるという方向性をとったのである。両協会に分かれて発展していった競技が、統一的に考えられるようになるのは1928年国際アマチュアハンドボール連盟（IAHF）の結成を待たなければならなかった。

③おわりに

トーアパールとか、カールシエレンツの功績を明らかにし、創世期でのドイツハンドボール競技の発展をながめる事が今回の課題で、まとめとして次のことが言える。

(1)トーアパールの前にその原型としてのラフバール（Raffbell）というものがあった。

(2)トーアパール競技は投げ渡し形式の配置競技であった。

(3)カール・シエレンツの功績としては、ハンドボール競技を体系づけたことであった。

(4)ドイツ体育協会とドイツスポーツ協会とで分れながら発展をみた

プレス・ルーム ＜20＞

杉　山　　茂
――（ＮＨＫ運動部）―

■強化部長の辞表提出

モスクワを目指し意欲的に頂点強化へ取り組んできた渡辺慶寿強化部長（常務理事）が、5月末、突然、辞表を提出した。

誰に聞いても、理由は不明。「おそらく個人的なことでしょう」という。

僕も、渡辺氏とはかなり、いろいろ深い話をしてきているから、彼の人となりを、多少でも判っているつもりだが、モスクワを1年後に控え、その予選が半年後というこの時期に、責任感の人一倍強い渡辺氏が、プライベートな感情で、辞表を出すなどとは、とても思えない。

周囲が、問題の本質を解明せず勝手に「個人的な…」などという日本協会の体質。まったく気にくわない。

辞表提出の背景に、頂点強化対策の組織・構造上の欠陥があることぐらい判りそうなものではないか。

二年前、荒川構想として委員会制度が打ち出された時＜強化委員会＞は独立色を強め、僕など、やっと、このセクションに対する認識がヨーロッパなみになった、と喜んだものだ。

初代委員長ともいうべき、当時の渡辺氏の意欲はたいそうなもので、すぐに活動が軌道へ乗ることは、疑いなかった。

ところが、運行しはじめて三カ月も経つと、強化委員会の動きに何やかやという声が聞こえるようになり、独立色など、すぐに薄れた。

ナショナルチームの監督の相談役に男女強化部長、その束ね役として強化部長という構造は、それだけで充分すぎるハズだったが、常務理事会が、さらに、その上につくような形が、いつのまにか強められた。

一方、現場（この場合、コーチングスタッフ）の意欲の高まりは次々と、いろいろな要求となって現われ、渡辺氏が、常務理事会と現場の板ばさみにあいはじめる。

そこへもってきて、女子監督の交替騒ぎがあり、渡辺氏自身の持ちこんだコーチングスタッフのプール制が不評。同氏の表情に、疲れののぞいた最近だった。

日本協会が、頂点強化事業を最大と考えるなら、強化セクションの＜独立＞は、絶対に欠かせぬ条件だ。

それを、ナショナルプレイヤーの名前や顔さえ満足に知らぬ人たちが、会議のテーブルの上だけで口ばしをいれるのでは、たまったものではあるまい。

全国理事会では、渡辺氏留任を望んだそうだが、復帰は考えられない。荒川理事長が、その線で動くとも思えない。

全国理事会の申し合せなので、一応、理事長は渡辺氏と接触するだろうが、形式的。むしろ、今後の強化部の動かしかたに理事長は全力をつくすとみられる。

つまり、理事長だけは、今回の辞表が、個人的な理由で出されていないことに、気付いているということにもなる。

■満員になるか西独シリーズ

待望の西ドイツナショナルが、姿を見せる。

今シーズンは、二月に女王・東ドイツの技と力を見ることができたし、ご気嫌この上ないわけだがはたして、西ドイツシリーズ、どれだけのファンが会場へ足を運ぶかも我々にとっては興味深い。

観客数というのは、マスコミの評価の基準としては、いちばん手っとり早いのである。

どのようなスポーツに関心や興味が集っているかの調査はしているが、その回数は知れており、自ずと、現場に取材に出た者の＜報告＞が、貴重なデータになってくる。

「この頃、ハンドボールは、つねに満員だよ。人気が出て来たな」と、各社のかたに、みやげ話を持って帰ってもらえばしめたものになる。

その逆では、都合のわるいことになる。

二月の東ドイツシリーズは、急な来日決定とあって、出足が心配されたが、まずまず。記者席の評判も、それなりによかった。

競泳から転向のクラウゼ人気も手伝って、各紙とも、ご承知のような扱いだった。

さて今回。西ドイツチームは、どこへ行っても、満員の観衆に囲まれて、試合をしている。

特に、グンメルスバッハやグロスバルスタットといった人気クラブの選手は、自分たちの試合には大観衆が当然といった感じで、そうした舞台装置がいっそう、彼らを燃え立たせる。

最近は、日本選手にも、こういった＜ムード型＞が多くなっているから、スタンドが埋まれば、王者を苦しめ抜くといった善戦の期待も、充分できよう。

日本協会はもちろんのこと、主管協会は、なんとか手をつくして大観衆を集めて欲しい。

この原稿が読者の目に触れるころは、戦いの真最中だろうが、日本ハンドボール界の抱えるすべての課題を好転させるためにも、西ドイツシリーズは、満員であってくれと願う。

来日前、西ドイツが立ち寄っている中国では、北京での第一戦に一万人の観客が詰めかけた、と外電は報じている。この面でも、中国に負けてはなるまい。

ブロック高校選手権

第30回 北海道高校

◇6月23、24日・釧路市厚生年金体育館ほか。参加男13、女9校
男女とも釧路勢の健闘が目立った。

男子は、結果的には函館有斗の3連勝（通算7度目）に終ったが準決勝で釧路商、決勝で釧路湖陵の食い下りにあい、いずれも前半劣勢という大苦戦だった。

一方、女子は、永い室蘭・函館勢の天下に終止符が打たれ、しかも、決勝は釧路同士という顔合せこれ以上の新風はなかった。

釧路商－釧路湖陵の決勝は、白熱した試合となったが、釧路商が前半の最少得点差を、最後に活かして初優勝を飾った。

▽男子1回戦
旭川東 19（10 9－5 6）11 紋別北
釧路商 22（13 9－7 5）12 室蘭工
八雲 17（10 7－8 6）14 室蘭東
釧路江南 36（14 22－7 3）10 倶知安
札幌南 20（8 12－3 0）3 帯広柏葉
▽同準々決勝
函館有斗 15（7 8－6 2）8 旭川東
釧路商 17（7 10－8 5）13 恵庭南
八雲 13（9 4－2 8）10 釧路江南
釧路湖陵 17（7 10－3 4）7 札幌南
▽同準決勝
函館有斗 10（7 3－5 4）9 釧路商
釧路湖陵 17（7 10－6 6）12 八雲
▽同決勝
函館有斗 14（5：6 3－2：4 5）11 釧路湖陵
▽女子1回戦
室蘭東 21（10 11－1 0）1 紋別北
▽同準々決勝
函館女商 19（7 12－2 4）6 釧路江南
釧路商 20（12 8－1 0）1 古平
函館商 12（6 6－5 4）9 恵庭南
釧路湖陵 21（12 9－6 1）7 室蘭東
▽同準決勝
釧路商 9（7 2－6 2）8 函館女商
釧路湖陵 10（5 5－2 2）4 函館商
▽同決勝
釧路商 6（3 3－3 2）5 釧路湖陵

第32回 東北高校

◇6日22～24日・秋田県立体育館ほか。参加男12、女12校。

男子は、有力とみられた聖光学院（福島）が、準々決勝で青森商（青森）に粘りつかれ、PTCで危うく進出するなど、波乱含みだったが、聖光は、そのあと、よく持ちなおし、決勝でも大曲農（秋田）の食い下りに会いながら振り切り、3年ぶり3度目の優勝を遂げた。

女子は、名門・涌谷（宮城）が1回戦で姿を消してしまったこともあり、和洋女（秋田）の独走。決勝では同県の大曲農を押し切って2年ぶり11度目の栄冠を握った。

大曲農は男女とも準優勝。前年旋風を吹かせた福島勢はやや元気がなかった。

▽男子1回戦
青森商（青森）25（13 12－5 4）9 寒河江（山形）
湯沢（秋田）18（11 7－5 2）7 仙台（宮城）
新庄工（山形）24（13 11－13 7）20 古川（宮城）
大曲農（秋田）21（15 6－6 10）16 野辺地（青森）
▽同準々決勝
盛岡一（岩手）9（6 3－3 3）6 湯沢
盛岡商（岩手）19（7 12－3 6）9 新庄工
聖光学院（福島）16（0 3：9 7－0 3：8 8）16 青森商
PTC3－2で聖光学院の勝ち
大曲農 23（12 11－6 6）12 安積（福島）
▽同準決勝
聖光学院 19（11 8－10 2）12 盛岡一
大曲農 18（11 7－8 5）13 盛岡商
▽同決勝
聖光学院 13（5 8－5 7）12 大曲農
▽女子1回戦
大曲農（秋田）8（5 3－3 0）3 野辺地（青森）
古川女（宮城）14（10 4－2 0）2 日大山形（山形）
米沢女（山形）8（2 0：5 1－0 0：5 1）6 涌谷（宮城）
▽同準々決勝
花巻南（岩手）10（5 5－4 4）8 青森西（青森）
米沢女 15（6 9－5 4）9 石川（福島）
大曲農 10（7 3－5 3）8 盛岡二（岩手）
秋田和洋女（秋田）18（10 8－0 4）4 古川女
花巻南 7（3 4－3 3）6 緑ケ丘（福島）
▽同準決勝
大曲農 10（7 3－2 3）5 米沢女
秋田和洋女 13（7 6－2 3）5 花巻南
▽同決勝
秋田和洋女 14（7 7－2 4）6 大曲農

第15回 北信越高校

◇6月23、24日・富山県氷見高ほか、参加男12、女12校。

男子は氷見（富山）、女子は小松市女（石川）と、インターハイで優勝候補にあげられている両校がまずまずの出来でトライアルゲームを乗り切った。

男子の氷見は、緒戦で坂城（長野）の健闘にあって、思わぬ苦戦を強いられたが、そのあとの二試合は完勝、6年連続7度目の優勝となった。それだけに、坂城の善戦が賞される。

小松市女は、ポイントゲッターの大西を欠いていたため、どうかと思われたが、スピード豊かな攻守で、なんとか一矢をと狙う美須々ケ丘（長野）らを突き放した。3年連続9度目の優勝である。

▽男子1回戦
坂城（長野）19（11 8－5 4）9 柏崎工（新潟）
高志（福井）10（6 4－3 5）8 小杉（富山）
県立工業（石川）14（6 8－6 4）10 高岡商（富山）
高岡日大（富山）20（11 9－5 7）12 北陸（福井）
▽同準々決勝
氷見（富山）15（9 6－8 6）14 柏崎工

小松工（石川）22（13－6、9－10）16 高志
石川県立工業 18（7－10、11－2）12 柏崎（新潟）
北佐久農（長野）17（8－8、9－6）14 高岡日大

▽同準決勝

氷見 22（10－4、12－4）8 小松工
北佐久農 12（6－4、6－6）10 石川県立工業

▽同決勝

氷見 20（11－6、9－7）13 北佐久農

▽女子1回戦

美須々丘（長野）17（6－3、11－4）7 高岡商（富山）
有磯（富山）14（6－2、8－1）3 武生商（福井）
佐久（長野）11（6－2、5－5）7 高岡女（富山）
小松商（石川）19（8－3、11－2）5 能生水産（新潟）

▽同準々決勝

小松市女（石川）17（9－7、8－4）11 松本美須々ケ丘
有磯 8（4－4、4－1）5 新潟江南（新潟）
佐久 9（6－0、5－4）4 仁愛女（福井）
高岡日大（富山）10（4－4、6－5）9 小松商

▽同準決勝

小松市女 10（6－3、4－2）5 有磯
佐久 15（7－7、8－5）12 高岡日大

▽同決勝

小松市女 19（10－3、9－1）4 佐久

第25回 関東高校

◇6月16～18日、東京駒沢体育館ほか、参加男25、女25校。

男子は、センバツ優勝の中大付属（東京）が貫禄を示し2年連続7度目の栄冠を手にした。

中大付は、春のメンバーに、大器といわれる一年生・左腕大木を早くも起用、いっそうスケールの大きな攻撃陣を編成、4試合で97ゴールをあげる無敵ぶりだった。

女子は、藤村女（東京）が、混戦を切り抜け、東京に初めてタイトルを輝やかせた。藤村女以外では、昭和学院（千葉）、栃木女（栃木）の充実が目立った。

▽男子1回戦

横浜日野（神奈川）11（3－7、8－3）10 佐原（千葉）
駒大高（東京）14（6－4、8－6）10 石橋（栃木）
明星（東京）18（11－2、7－4）6 馬頭（栃木）
川口北（埼玉）21（12－2、9－8）10 吉田（山梨）
浦和西（埼玉）29（10－5、19－6）11 甲府一（山梨）
八千代（千葉）18（8－8、10－6）14 笠間（茨城）
富岡（群馬）18（8－8、10－6）14 相模原（神奈川）
吉井（群馬）18（15－9、3－6）15 拓大一（東京）
日川（山梨）21（3－2、3－3、7－8、8－7）20 麻生（茨城）

▽同2回戦

中大付属（東京）28（14－5、14－6）11 横浜日野
川口工（埼玉）20（9－8、11－7）15 駒沢大高
明星 18（10－8、8－6）14 清水（千葉）
川口北 15（6－8、9－6）14 横浜商工（神奈川）
前橋商業（群馬）16（10－4、6－7）11 浦和西
足利工業（栃木）15（5－7、10－7）14 八千代
富岡 17（9－8、8－8）16 土浦第一（茨城）
吉井 19（7－7、12－5）12 日川

▽同準々決勝

中大附属 22（10－8、12－8）16 川口工
明星 19（8－7、11－6）13 川口北
前橋商業 15（6－8、9－5）13 足利工業
富岡 14（9－9、5－3）12 吉井

▽同準決勝

中大付属 21（11－6、10－8）14 明星
前橋商業 19（10－8、9－10）18 富岡

▽同決勝

中大付属 26（15－5、11－6）11 前橋商業

▽女子1回戦

流山中央（千葉）10（5－2、5－3）5 鉾田二高（茨城）
川口北高（埼玉）13（4－3、9－1）4 東邦大付（千葉）
竜ケ崎二（茨城）15（6－4、9－0）4 佼成学園（東京）
山梨（山梨）15（9－8、6－4）12 浦和実業（埼玉）
小山城南（栃木）23（12－1、11－1）2 吉田（山梨）
神代（東京）5（2－4、3－0）4 川和（神奈川）
群女短付（群馬）13（8－4、5－7）11 高浜（神奈川）
国学院栃木（栃木）13（6－6、7－4）10 拓大一（東京）
昭和学院（千葉）14（6－1、8－2）3 下仁田（群馬）

▽同2回戦

明倫（神奈川）16（9－9、7－0）9 流山中央
川口北 11（5－1、6－9）10 日川（山梨）
吉井（群馬）11（2－4、9－3）7 竜ケ崎二
藤村女子（東京）16（7－3、9－3）6 山梨
麻生（茨木）14（7－6、7－6）12 小山城南
栃木女子（栃木）7（5－1、2－0）1 神代
浦和西高（埼玉）11（5－4、6－5）9 群馬女子短大付
昭和学院 17（8－2、9－5）7 国学院栃木

▽同準々決勝

明倫 10（3－2、0－0、5－5、2－2）9 川口北
藤村女子 12（7－3、5－4）7 吉井
栃木女子 13（4－7、9－2）9 麻生
昭和学院 10（6－2、4－1）3 浦和西

▽同準決勝

藤村女子 14（10－5、4－4）9 明倫
昭和学院 10（4－6、6－2）8 栃木女子

▽同決勝

藤村女子 12（6－5、6－6）11 昭和学院

第26回 東海高校

◇6月23、24日・静岡県清水市営体育館ほか、参加男8、女8校

男子決勝は、センバツ3位同士の中京（愛知）×県岐阜商（岐阜）。

試合は、県岐阜商のリードで進められたが、後半なかばから中京が猛攻撃を仕掛け一気に逆転。勝利をもぎとった。8年ぶり5度目の優勝、久々の名門復活といえた。

女子は、愛知同士の対決となりインターハイ県予選で涙をのんだ名短大付が、市邨に雪じょく。ろっぷんを晴らした。初優勝である。

▽男子1回戦（＝準々決勝）

中京（愛知）23（10－9、13－2）11 大垣南（岐阜）
静岡農（静岡）20（9－6、11－1）7 尾鷲（三重）
県岐阜商（岐阜）17（11－7、6－5）12 清水市商（静岡）
四日市工（三重）16（10－5、6－5）10 岡崎城西（愛知）

▽同準決勝

中京 23（15－4、8－9）13 静岡農
県岐阜商 21（12－4、9－4）8 四日市工

▽同3位決定戦

静岡農 17（9－9、8－7）16 四日市工

▽同決勝

中京 21（7－9、14－7）16 県岐阜商

▽女子1回戦（＝準々決勝）

富田女（岐阜）10（3－1、7－3）4 津女子（三重）

市邨学園（愛知）16（7－4、9－2）6 清水市商（静岡）

二俣（静岡）7（3－2、4－2）4 県岐阜商（岐阜）

名短大付（愛知）7（3－4、4－1）5 暁（三重）

▽同準決勝

市邨学園 16（9－2、7－4）6 富田女

名短大付 9（6－2、3－3）5 二俣

▽同3位決定戦

富田女 6（4－2、2－2）4 二俣

▽同決勝

名短大付 8（2－3、6－3）6 市邨学園

第30回 中国高校

◇5月13、14日・島根県松江南高球技場、参加男16、女16校。

男子は、今年も山口勢が強味を示し、その一角を切り崩すと期待された修道（広島）も、準決勝で下松（山口）に退けられ、決勝は下関中央工（山口）×下松の顔合せから、下関が後半、ペースをつかんで3年ぶり8度目の優勝を遂げた。

女子も、センバツ二位の徳山（山口）が、抜群の攻撃力と、まとまりのあるディフェンスで、圧倒的な強味をみせ、危気ない2連勝7度目のタイトル獲得となった。

徳山以外では、山陽女（広島）に逆転勝ち、二位に食いこんだ岩国商（山口）や、徳佐（山口）など、男子以上に、山口勢の活躍が目立った。

▽男子1回戦

下関中央工（山口）20（11－4、9－6）10 倉吉東（鳥取）

児島（岡山）19（9－3、10－9）12 松江工（島根）

倉敷工（岡山）25（11－7、14－5）12 米子東（鳥取）

三原工（広島）18（9－7、9－10）17 飯南（島根）

徳山（山口）21（11－3、10－10）13 松江南（島根）

修道（広島）25（16－8、9－6）14 境港工（鳥取）

倉敷商（岡山）16（7－4、9－4）8 呉三津田（広島）

下松（山口）36（23－8、13－4）12 松江農（島根）

▽同準々決勝

下関中央工 33（16－5、17－5）10 児島

倉敷工 13（8－2、5－8）10 三原工

修道 26（11－4、15－5）9 徳山

下松 18（10－5、8－7）12 倉敷商

▽同準決勝

下関中央工 27（15－6、12－11）17 倉敷工

下松 17（8－7、9－6）13 修道

▽同決勝

下関中央工 16（6－6、10－6）12 下松

▽女子1回戦

徳山（山口）14（6－0、8－1）1 津山商（岡山）

倉吉産業（鳥取）11（5－2、6－7）9 浜田商（島根）

倉敷天城（岡山）8（3－3、5－2）5 松江南（島根）

倉吉西（鳥取）6（5－1、1－4）5 呉豊栄（広島）

米子南商（鳥取）13（7－4、6－2）6 松江農（島根）

徳佐（山口）6（5－1、1－1）2 比治山女（広島）

岩国商（山口）23（9－2、14－4）6 松江市女（島根）

山陽女（広島）12（6－2、6－2）4 落合（岡山）

▽同準々決勝

徳山 28（13－0、15－0）0 倉吉産業

倉敷天城 17（8－4、9－2）6 倉吉西

徳佐 11（4－2、7－1）3 米子南商

岩国商 4（2－3、2－0）3 山陽女

▽同準決勝

徳山 22（7－2、15－0）2 倉敷天城

岩国商 6（3－1、3－2）3 徳佐

▽同決勝

徳山 15（8－3、7－4）7 岩国商

近畿などは7月に

ブロック高校選手権のうち、近畿は7月23日から25日まで、四国と九州は7月22日から24日までのスケジュールで行われる。

全国高専選手権 8月13、14日大阪で

日本協会は、今夏の第6回全国高専選手権を、8月13、14日の両日、大阪市中央体育館で開く。

参加チームは、例年どおり16チームの予定で、東海北陸、中国ゾーンから各3、東北、関東信越、近畿ゾーンから各2、北海道、四国、九州ゾーン各1のほか、開催地代表校1が加わり、競技はトーナメント法式で行われる。

（注）高専のブロック分けは、日本協会の区域とは異る。

池上金治氏が逝去

日本ハンドボール界のパイオニアの一人、池上金治氏（東京農大名誉教授）が、6月26日午前9時20分、心不全のため、東京世田谷の自宅で亡くなられた。71才。

池上氏は、日本にハンドボールを伝えた故・大谷武一氏に、昭和初期、直接、ハンドボールの手ほどきをうけ、日本協会創立（昭13）当初から、普及指導につくされた。

また、戦前、数々のビッグイベントの各チーム監督として指揮をとり、トップレベルの指導にも腕をふるわれた。

戦後もしばらく日本協会理事をつとめ、昭和二十九年から日本協会参与。

著書に「送球競技指導法」などがある。

本田技研、大同破る

第15回東海実業団選手権は、5月6、13日岐阜県民体育館と大垣SCに、男子9、、女子4チームを集めて行われた。

男子は、　年ぶりに日本リーグ勢を加えたトーナメント法式に戻したが、やはり、本田技研鈴鹿（三重）、大同特殊鋼（愛知）の力が抜群、両者の決勝は、一点を争う好ゲームとなったが、本田が、前半のリードを守り切り、2年ぶり2度目の優勝、6月末に始まる日本リーグへ期待を高めた。

女子は、リーグ戦で争われ、予想どおりジャスコ（三重）×ブラザー工業（愛知）が首位をかけて最終日に対戦、ジャスコが、不調のブラザーを押しまくり完勝、2年連続3度目の優勝を遂げた。

▽男子1回戦
トヨタカローラ（愛知）27（15―9、12―4）13 三洋電機（岐阜）
▽同準々決勝
大同特殊鋼（愛知）34（17―3、17―2）5 航空自衛隊（三重）
北陸電力福井 27（13―6、14―5）11 日本碍子（愛知）
本田技研鈴鹿（三重）43（24―4、19―1）5 日本耐酸壜（岐阜）
新日鉄名古屋（愛知）37（18―4、19―6）10 トヨタカローラ
▽同準決勝
大同特殊鋼 35（16―7、19―5）12 北陸電力福井
本田技研鈴鹿 40（19―8、21―5）13 新日鉄名古屋
▽同3位決定戦
新日鉄名古屋 12（6―3、6―7）10 北陸電力福井
▽同決勝
本田技研鈴鹿 14（5―7、9―6）13 大同特殊鋼
▽女子リーグ
ジャスコ（三重）41（24―0、17―2）2 三洋電機（岐阜）
ブラザー工業（愛知）16（6―8、10―4）12 ジャスコB（三重）
ジャスコ 27（12―5、15―5）10 ジャスコB
ブラザー工業 30（17―1、13―1）2 三洋電機
ジャスコB 30（16―2、14―1）3 三洋電機
ジャスコ 21（10―5、11―3）8 ブラザー工業
（順位）①ジャスコ3戦全勝②ブラザー工業2勝1敗②ジャスコB④三洋電機

一関高専、今年も圧勝

第6回全国高専選手権東北地区予選会は、6月30日一関高専で行われ、一関が宮城、秋田を破り6年連続優勝した。

一関高専 20―9 宮城高専
一関高専 22―12 秋田高専
秋田高専 15―14 宮城高専

女子は石川県が大勝

▼第26回北陸三県総合競技会（6月・金沢美術工芸大学体育館）
▽成年女子
石川 21―4 富山
富山 13―8 福井
石川 30―0 福井
（順位）①石川県②富山県③福井県
▽成年男子
富山 24―24 石川（引き分け）
福井 21―14 富山
福井 16―15 石川
（順位）①福井県②石川県③富山県

伏見ク、ワコール好出足

▼京都社会人ハンドボールリーグ（5・6月・呉竹養護学校）
▽1部
伏見ク 16―15 塔南ク
ワコール 19―10 嵯峨野ク
海上自衛隊 16―10 平安送球会
葵クラブ 17―8 塔南ク
海上自衛隊 13―12 東山ク
嵯峨野ク 11―11 葵クラブ（引き分け）
伏見ク 13―5 嵯峨野ク
葵クラブ 20―16 東山ク
ワコール 28―10 平安送球会
塔南ク 15―8 東山ク
▽2部
京商ク 15―7 京都球友会
城南ク 27―3 シルビア
洛東ク 21―7 田辺ク
大阪ガス 11―10 大谷ク
伏見クB 17―8 篁会
広喜工務店 16―5 三菱電機
京都球友会 11―9 田辺ク
大谷ク 12―11 広喜工務店
城南ク 24―9 田辺ク
広喜工務店 8―8 京都球友会（引き分け）
篁会 16―6 三菱電機
京商ク 14―10 シルビア
大阪ガス 26―7 三菱電機
京商ク 15―13 篁会
城南ク 20―9 大谷ク
京都球友会 10―9 篁会
洛東ク 25―8 三菱電機
城南ク 21―11 篁会
洛東ク 20―6 広喜工務店
シルビア 17―10 伏見クB
京商ク 25―5 田辺ク
大阪ガス 14―13 広喜工務店
シルビア 18―14 京都球友会
大阪ガス 20―9 田辺ク

没収で笠間ク勝つ

▼第12回茨城県クラブ選手権大会（6月・日製会瀬体育館）
▽1回戦
土浦三高OB 16―10 千代田ク
鹿行ク 24―13 鉾田ク
玉造ク 22―12 竜ケ崎ク
▽準決勝
笠間ク 20―17 土浦三高OB
鹿行ク 22―12 玉造ク
▽決勝
笠間ク（没収）鹿行ク

実業団は自衛隊勝田

▼第17回茨城県実業団選手権（6月・日製会瀬体育館）
自衛隊勝田 29―12 日製日立
日本原研 28―15 自衛隊古河
日本原研 26―9 日製日立
自衛隊勝田 12―0 自衛隊古河
日製日立 12―0 自衛隊古河
自衛隊勝田 19―16 日本原研
（順位）①自衛隊勝田②日本原研③日製日立

生駒ク、奈良教大制す

▼第30回奈良県選手権（4・5月・畝傍高校）
▽中学男子決勝リーグ
生駒中 16―6 緑ケ丘中
緑ケ丘中 12―12 斑鳩中
生駒中 14―6 斑鳩中
（順位）①生駒中②斑鳩中③緑ケ丘中（失点負）
▽同女子決勝リーグ
緑ケ丘中 6―4 生駒中
生駒中 14―1 斑鳩中
緑ケ丘中 17―3 斑鳩中
（順位）①緑ケ丘中②生駒中③斑鳩中
▽高校女子リーグ戦
添上 14―5 生駒
郡山 26―4 文短
郡山 9―1 生駒
添上 28―2 文短
生駒 11―1 文短

添上 8—7 郡山
（順位）①添上②郡山③生駒④文短

▽同男子1次予選準々決勝
奈良 14—6 添上
橿原 15—12 畝傍
奈工業 26—9 十津川
生駒 22—9 正強

▽同準決勝
橿原 7—5 奈良
生駒 23—7 奈工業

▽同決勝
生駒 20—9 橿原

▽同2次予選準々決勝
添上 12—9 奈良工業
奈良 21—6 天理

▽同準決勝
添上 8—7 奈良

▽同決勝
橿原 12—5 添上
（順位）①生駒②橿原③添上④奈良

▽一般女子決勝
生駒ク 21（11—1、10—5）6 奈良教育大

▽一般男子準々決勝
天理大 28—11 高専
添上ク 41—7 奈良ク
生駒ク 24—4 畝高OB
奈良オールド16—14 奈工高OB

▽同準決勝
添上ク 13—10 天理大
生駒ク 33—10 奈良オールド

▽同決勝
生駒ク 21（10—7、11—5）12 添上ク

全九州選手権へ熱戦

▼全九州高校選手権福岡県予選（5月・久留米工業大学体育館・ブリジストン体育館）

▽男子準々決勝
小倉西 12—7 西南
久工大付 20—8 西陵
筑中央 12—6 三池
小倉工 10—9 福岡工

▽同準決勝
久工大付 25—9 小倉西
小倉工 11—6 筑中央

▽同決勝
久工大付 19（11—7、8—3）10 小倉工

▽女子準々決勝
東海五 15—4 香椎
福岡 9（延）7 浮羽
筑中央 7—5 明善
筑紫女 22—2 宗像

▽同準決勝
福岡 13—3 東海五
筑紫女 14—2 筑中央

▽同決勝
筑紫女 16（5—2、11—4）6 福岡

男女各1・2位は全九州選手権に出場

城北ク、二俣ク破る

▼第33回静岡県スポーツ祭（5月・清水）

▽一般男子準々決勝
静農ク 15—6 清商ク
富士ク 13—8 浜南ク
気賀ク 21—17 三信ク
清商クB 22—17 静大ク

▽同準決勝
富士ク 12—10 静農ク
清商クB 25—10 気賀ク

▽同3位決定戦
静農ク 18—16 気賀ク

▽同決勝
富士ク 13—12 清商ク

▽同女子準決勝
二俣ク 8—3 清水商ク
城北ク 10—3 御殿場ク

▽同決勝
城北ク 7—2 二俣ク

▽高校男子準々決勝
土肥 24—7 静岡工
御殿場 7—4 二俣
星陵 14—9 浜松城北工
静岡農 25—10 清水東

▽同準決勝
土肥 13—1 御殿場
静岡農 16—9 星陵

▽同3位決定戦
星陵 13—7 御殿場

▽同決勝
土肥 12—8 静岡農

▽同女子準々決勝
二俣 13—5 富士宮東
静岡城北 16—1 藤枝西
清水市商 10—7 御殿場
気賀 8—6 吉原

▽同準決勝
静岡城北 6—4 二俣
気賀 6—4 清水市商

▽同3位決定戦
清水市商 9—4 二俣

▽同決勝
静岡城北 10—2 気賀

山梨は日川ク決勝

▼山梨県一般クラブ選手権（6月・甲府）

▽男子1回戦（1試合）
塩山ク 13—10 NEC

▽同準決勝
大月スワローズ16—15 日川ク
甲府ク 7—0 塩山ク

▽同決勝
甲府ク 21（7—8、14—8）16 大月スワローズ

▽女子決勝
日川ク 22（10—5、12—1）6 甲府ク

神森が圧倒的強味

▼沖縄県中学生大会（6月・那覇）

▽男子準々決勝
神森 30—8 津堅
浦添 13—4 首里
仲西 15—10 那覇
越来 16—12 神森

▽同準決勝
神森 20—4 浦添
越来 16（延）12 仲西

▽同決勝
神森 22（12—6、10—2）8 越来

▽女子準々決勝
石田 15—12 仲西
コザ 14—4 城北
津堅 7—6 鏡原
浦添 20—9 那覇

▽同準決勝
石田 4—3 コザ
浦添 13—11 津堅

▽同決勝
石田 15（7—8、8—3）11 浦添

北電、福井教員かわす

▼福井県前期選手権（4月・福井）

▽一般男子準々決勝
羽球会 26—10 ボンバース
福井教員 26—6 スターズ
北陸電力 26—8 「動燃」
光陽会 23—14 福井大

▽同準決勝
北陸電力 29—12 光陽会
福井教員 33—12 羽球会

▽同決勝
北陸電力 23（12—9、11—7）16 福井教員

静岡カップの日程変更　静岡県協会は第3回全国クラブ大会静岡カップの日程を、8月3日から5日までに変更した。当初は7月27日からの予定だった。

今月号から新体制での発行となります。
定期購読者（チームを含む）で、住所（送付先）の変更がある場合は、大至急、日本協会へお届け下さい。

興奮再現。

持ち運んで楽しむか

BIG SOUNDS
実用最大出力4.2W
TRK-8030 ¥43,800

クリアでナチュラルな音質の実用最大出力4.2W(2.1W＋2.1W、EIAJ/DC)のパワー。12cmウーハー(中低音域用)と3.5cmツイーター(高音域用)採用のスピーカー・システムが再現するリアルなパワーサウンド、心ゆくまでお楽しみください。

●FM／AM2バンドラジオつき
●(クロム／ノーマル)テープセレクター採用
●フルオートストップ
●外部スピーカー端子つき(別売り APS-80)使用
●ラインイン、ラインアウト端子、マイク端子(R用、L用各1個)つき



ステレオパディスコ8030 TRK-8030 ¥43,800

●電源DC：9V(単1×6) AC：100V 50/60Hz カーアダプター(別売りD-70) ●大きさ 幅41.2×高さ25.6×奥行12(cm) ●重さ 5.0kg(乾電池含む)

システムパディスコ



組んで楽しむか

パディスコ8030はシステムアップできるラジオカセット。専用外部スピーカー(APS-80)の接続により、迫力あるステレオ・サウンドがさらに倍増。また、プレヤー(HT-320)を接続すればレコード音楽も楽しめます。(MM形カートリッジイコライザー MCE-70が必要)

●専用外部スピーカー、APS-80 別売り 2本セット¥11,800
●レコードプレヤーHT-320 別売り ¥25,800(レコードプレヤーを接続するにはMM形カートリッジイコライザー〈MCE-70〉別売り ¥4,500が必要です)

▲上の写真はステレオパディスコ8030をシステムアップしたものの一例です。
★カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
★商品のお問合せ、クレジットのご相談、カタログのご請求は、お近くの日立の家電品取扱店へお気軽にどうぞ。

品質を大切にする〈技術の日立〉
HITACHI CASSETTE RECORDER
HITACHI

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)502-2111
日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)503-2111

★「日立カセットレコーダーの保証書」は必ずお受けとりください。お買い上げの際に、販売店名、ご購入年月日が記入されているかを、お確かめになり、大切に保存してください。





日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一七六号
昭和四十年 第三種郵便物
昭和五四年六月二十五日印刷
昭和五四年七月一日発行
発行所 日本ハンドボール協会
京都渋谷区神南一－一－一
話 代表(467)七〇九七
振替 東京 六－五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価 三百五十円（年間購読料三千三百円）